

元陸上部のおばさんを

寝取った話





だから見て  
ないってば

こんなおばさん  
どこがいいの?

キッ



ち・違うよ

あーっよしクンまたわたしのこと  
Hな目で見てたでしょ?



ホントにいい?

うっ

Hキッ



よしクン...  
Hなのはダメ  
だからね

めっ

ニキッ



僕：カオリ  
お婆さんのこと

そんな目で  
見てないよ

カァァ...



ならいいケド



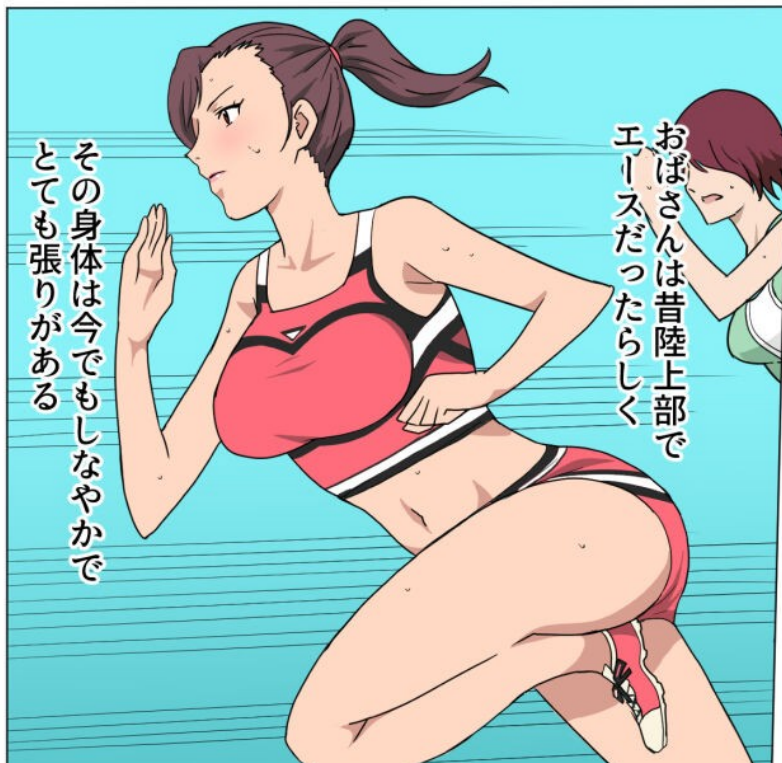
さあー  
買い物いこつ

ん



よしクンはちゃんと同い年の  
ガールフレンドが出来るから

わたしなんか見てたら  
ダメなんだからね



お婆さんは昔陸上部で  
エースだったらしく

その身体は今でもしなやかで  
とても張りがある



この人はカオリお婆さん  
近くに住む母の姉だ

僕はなにかにつけて  
お婆さんの家に  
遊びに来ていた

71

74



そしてなにより...

めちやくちやエロイ



ゴクッ



何とかしておばさんとHできないか...

僕は色々試してみたが



まるで見向きもされなかった

旦那

しかしある日僕は偶然おばさんの家でノートを見つけた



いつもおばさんに子ども扱いされるだけだった

おばさんの旦那は僕と同じようなタイプなのに



コーチとのあるまじき関係が赤裸々に書かれていた



お婆さんの陸上部時代の練習記録に紛れて...

お婆さんも存在を忘れていたようなノートには



「今日もコーチに体育倉庫に呼び出された…」

「あんっ  
こ…コーチ」

「人が来ます」

「でも今日もぎつと触られる」

「またいつもの個人指導だ…」

「最初はそれとは分からない程度に」

「最近はどうそんな誤魔化しなどなく」

「マッサージだと言い訳してたが」

「あくうううっ  
そこは…」

「直接あそこをイジられてる」

「それどころかもうセックスまでするのが当たり前で…」

「でもわたしが記録を出せたのは全部このひとのおかげでもある」

「まさか卒業前にこんなことになるなんて…」

「あんっ  
ふああ  
あんっ」

「言うことをきくのが自分にとっては当たり前だった」



「それよりもシヨックだったのがわたしの身体がコーチの激しいセックスをすんなり受け入れ…」

「それ…  
だめっ」

「求め始めていることだった」

「そんなにされたらあああつ」

「このまま流されたらわたしはこの人から離れられなくなってしまふ」

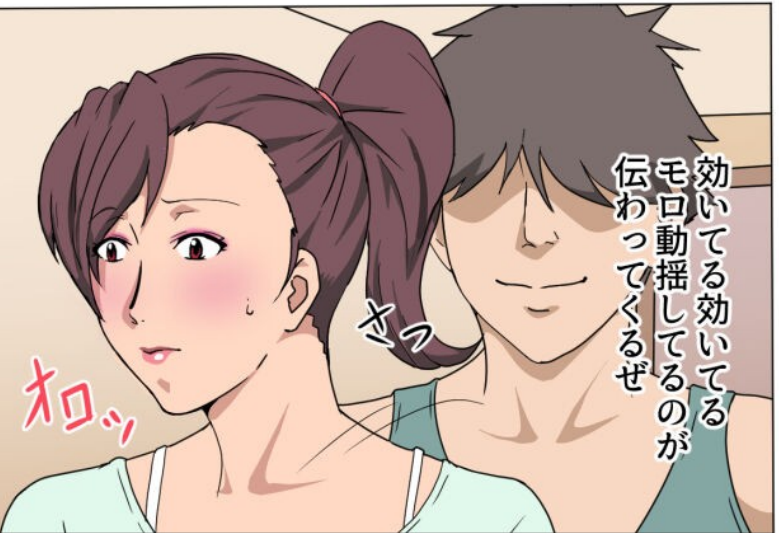
「あんっ  
くふううっ」

「だから卒業を機にこのひととはきっぱり縁を切ることにした」

「もうこの手のタイプの人には近づかないようにしよう」

「そうわたしは決心した」







なにがよ?

な・なんの  
コト?



なっ...  
なにするのよ!

知ってるんですよ  
おばさん

ホラよく見て  
おばさん



練習ノートに  
書いてあった  
でしょ?

アセッ



知らないわよそんなの  
どこにあるのよ?

もちろん預かってますよ  
おばさんの字で書かれた  
エロイ中身をおじさんが  
見たらなんて言うかな?



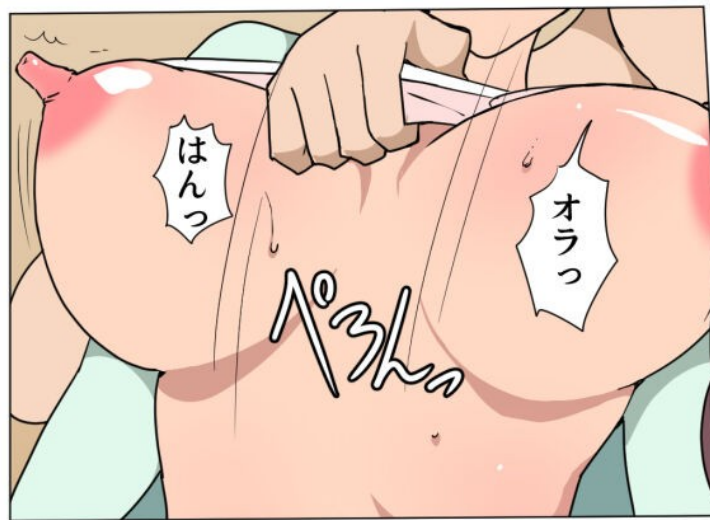
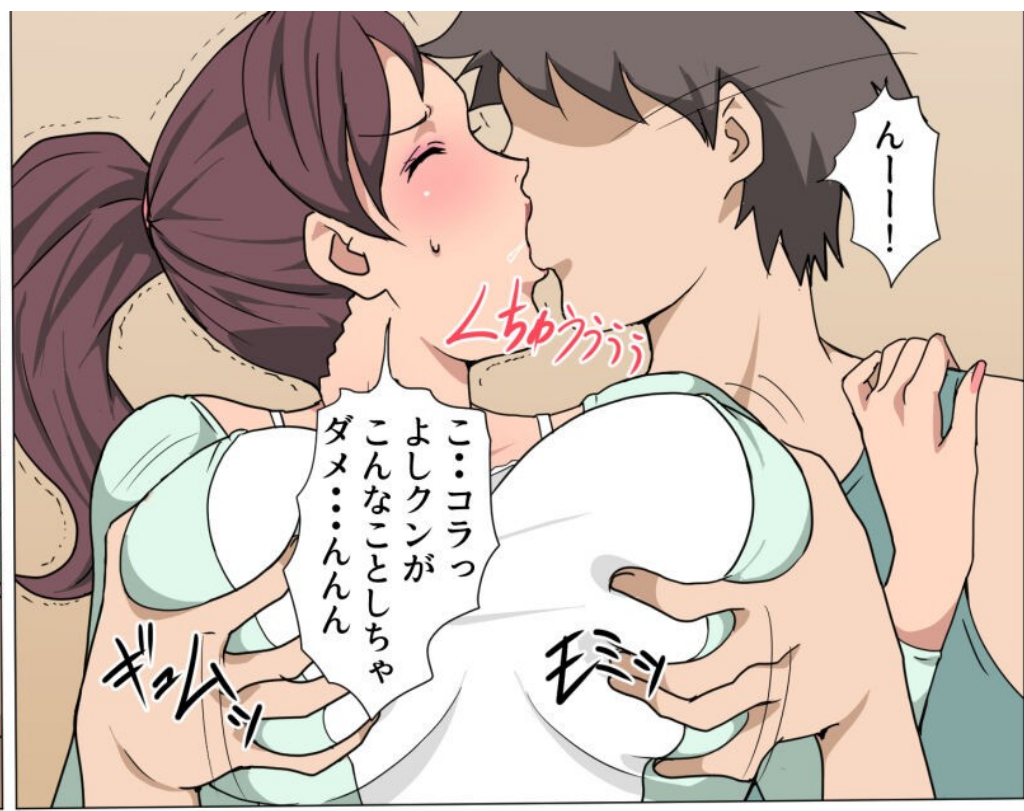
どういふこと  
ですよ

アッ



だったらわかって  
ますよね?

ばっ・馬鹿なこと  
言わないでよ!





あああああ  
今そこ触られたら  
ああっ



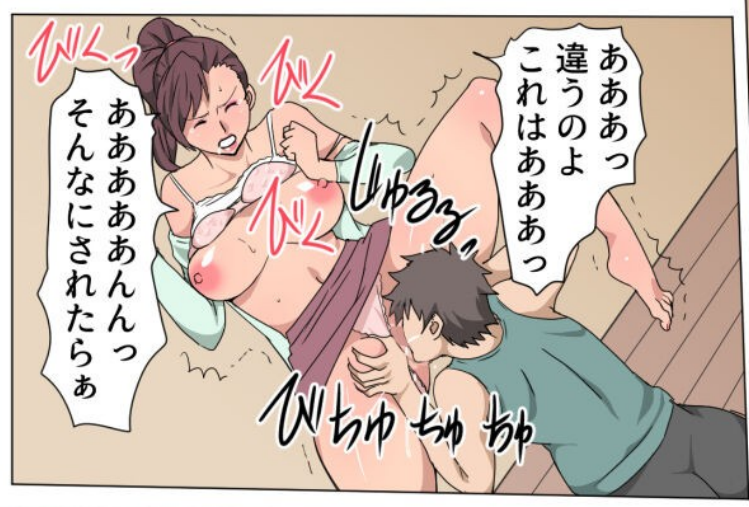
コッチはどう  
なってるのかな？

ヤダ……  
だめよ！  
見ないでっ



なんだもう  
濡れ濡れじゃ  
ないですか

すごいあふれて  
ますよおばさん



あああっ  
違うのよ  
これはあああっ

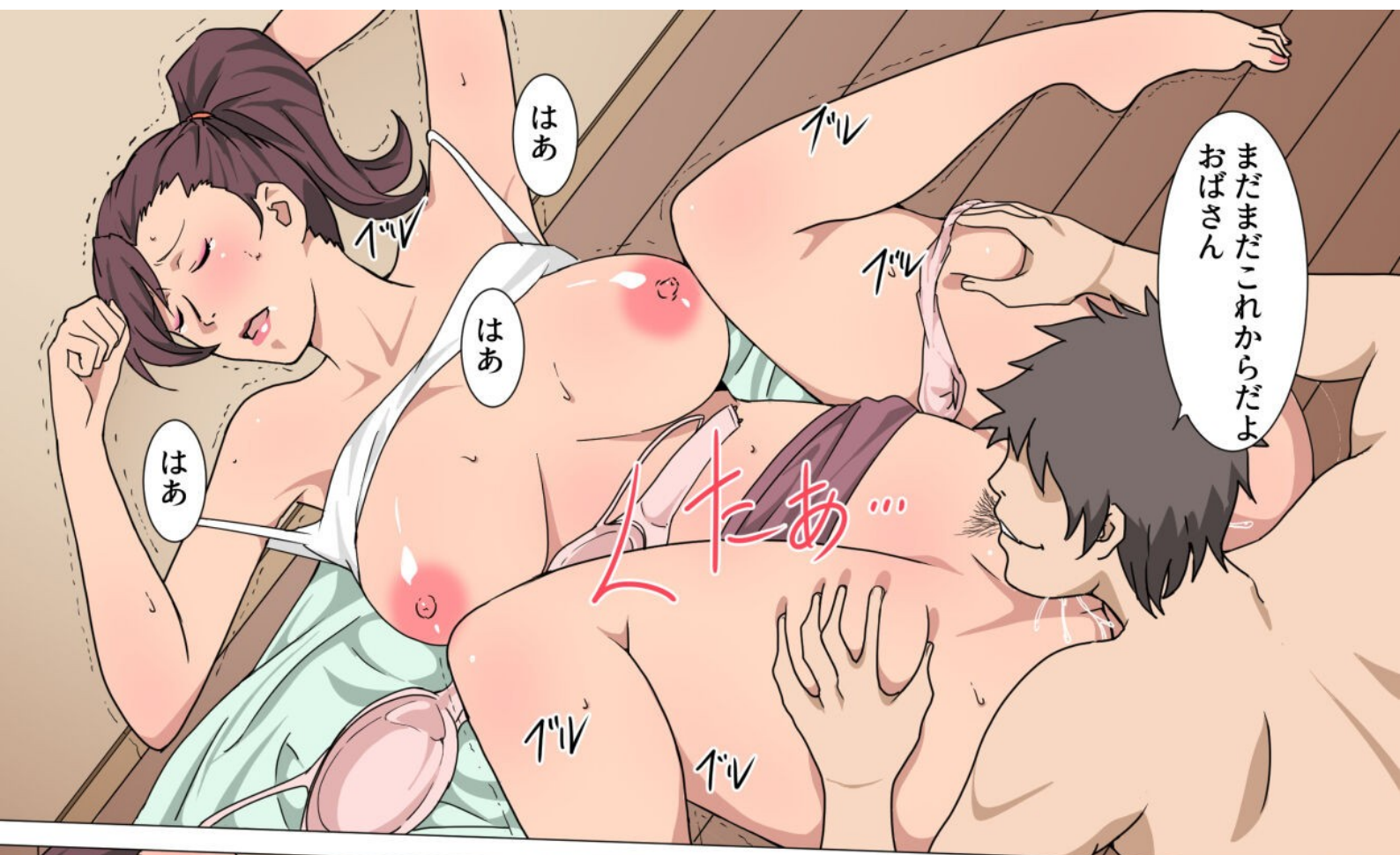
あああああんっ  
そんなにされたらあ



ひぐうううう  
んあああああああっ！！

あらら……  
お漏らししながら  
いきなりイクなんて

相当感じて  
たんだな





おっと・・・またすぐイク前に挿れてやるよおばさん

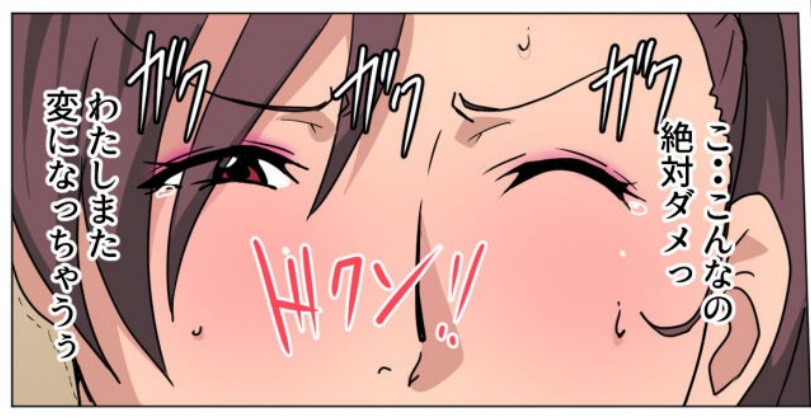
ちよっ・・・それはダメだって!

こんなにびしょびしょにしてもう我慢できないでしょ?



ふんあああああああああああああああ

おおっ! 膣内スゲーぬるぬるだよ



こ・・・こんなの絶対ダメっ

わたしたまた変になっちゃう



乳首もギンギンに勃ってるよ

いきい・・・んふうあああああああああああ



ちがっ・・・くあああああああああああああああ

だめえええええ!

オラっ

ズブズブズブ

ズブズブ

ヒキヒキ





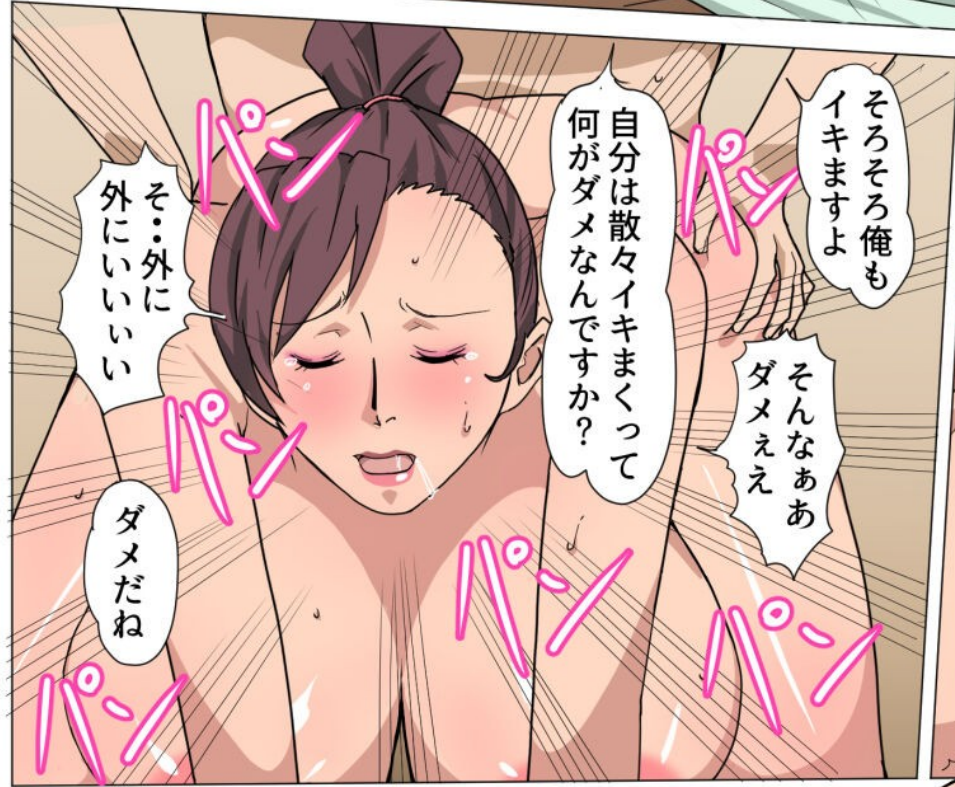


あああああつ：それっ  
グリグリすごいのお  
おとおおお!

クリビンビンに  
勃起させてメスイキ  
しまくりだね

アソコがあああ  
変になるううう

ビク  
ビク  
ビク



自分は散々イキまくって  
何がダメなんですか？

そろそろ俺も  
イキますよ

そんなああ  
ダメええ

そ：外に  
外にいいいい

ダメだね

パン  
パン  
パン  
パン  
パン  
パン  
パン  
パン



ホラ  
尻上げてっ！

はんっ

グリス  
グリス  
グリス  
グリス  
グリス  
グリス  
グリス  
グリス



オラっ  
イクぞっ

たっぷり  
味わえ！

あがあああああつ  
いやああああんっ  
膣内だめええええっ

んはああああああ  
いっばいにあふれるうう

ググ  
ググ  
ググ  
ググ  
ググ  
ググ  
ググ  
ググ



—後日  
ホテル

わたしはノートを  
餌に呼び出された

へえ、  
ホントに来て  
くれたんだ

アナタが来いって  
言ったんでしょ

絶対今日はこの子の  
ペースに流されない  
ようにするわ

随分大人しい  
服着て来たん  
ですね

わたしが何着て  
来ようが勝手でしょ

ふうん

なによ

おらっ

きやつ

ち・違・う・わ・よ

でも下着はこんな  
エロいの穿いて  
期待してんの？  
おばさん

お婆さん……  
自分の本性まだ  
気付いてないの？

……  
何言ってるのよ  
……  
こんなことされて  
嬉しいわけないわよ

ホントに？  
当たり前  
じゃないっ

ちよつと  
やめなさい！

アセッ

エッロ……  
ちよつと剥いただけで  
もう裸じゃんこの服

じゃあこれは  
なんスか？

えっ……  
そんなことって

こんなにメス汁  
あふれさせて身体は  
発情しちゃってますよw

あああはああんっ  
こ……こんなの違うわ！



ひよっとしてホテル  
久しぶりで楽しみに  
してた?..おばさん

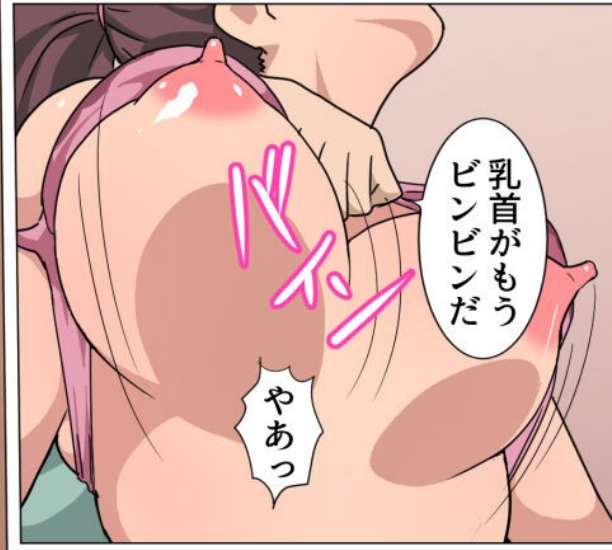
あんっ

でなきやさわる前から  
こんなにならないよな

ち・違うわ  
そんなわけない

ああん

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ



乳首がもう  
ビンビンだ

やあっ



かはあっ!  
そこダメえ



ひいあああああっ

んふううっ

あらら・勝手に  
いっっちゃダメでしょ

アナタがソコ  
いじるからああ

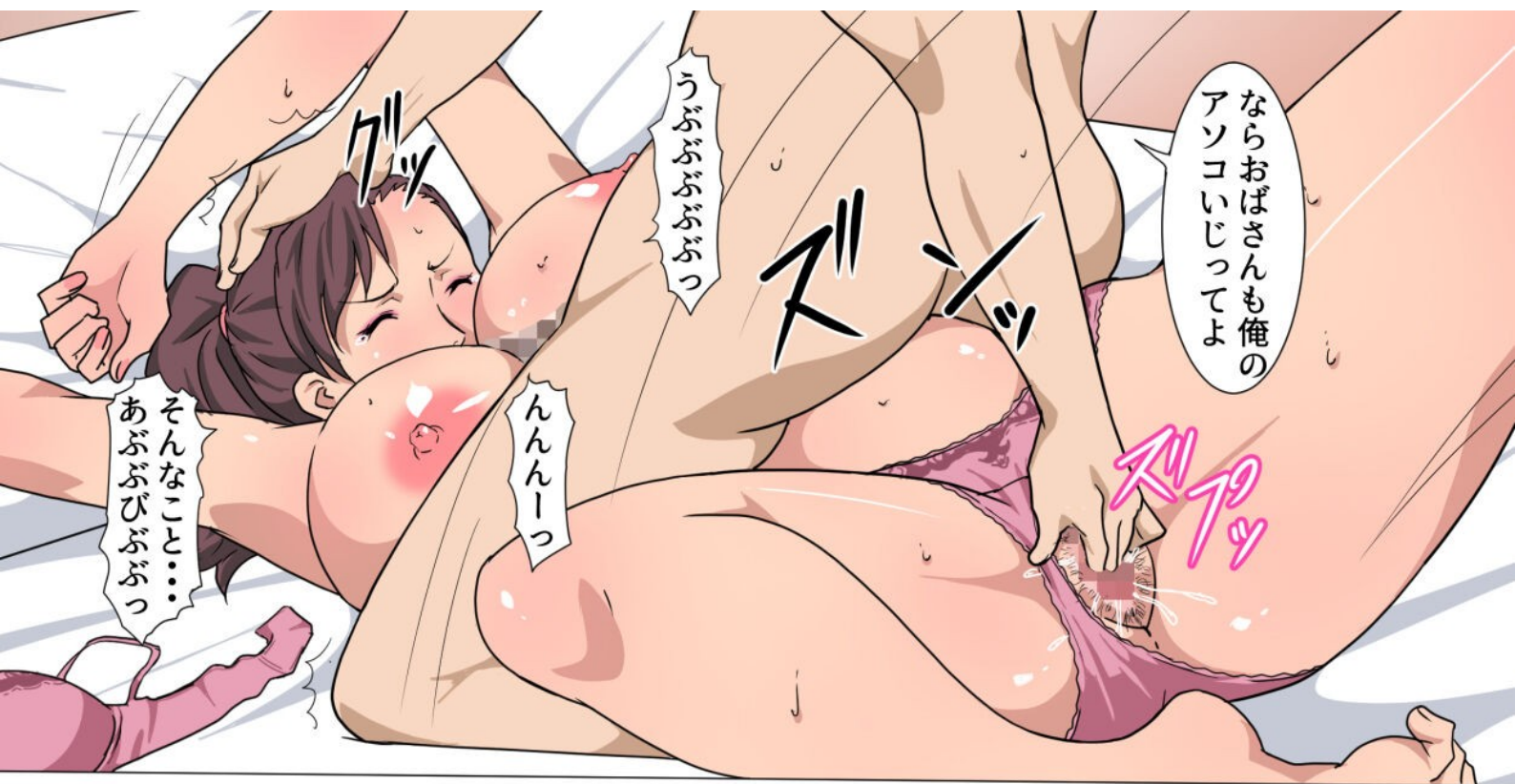


とか言いつつ膣内  
すげーゾワゾワして  
欲しがってるぞ

そ・そんなの絶対  
嘘お・うぐぐ  
んはあああんっ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ガッガッ

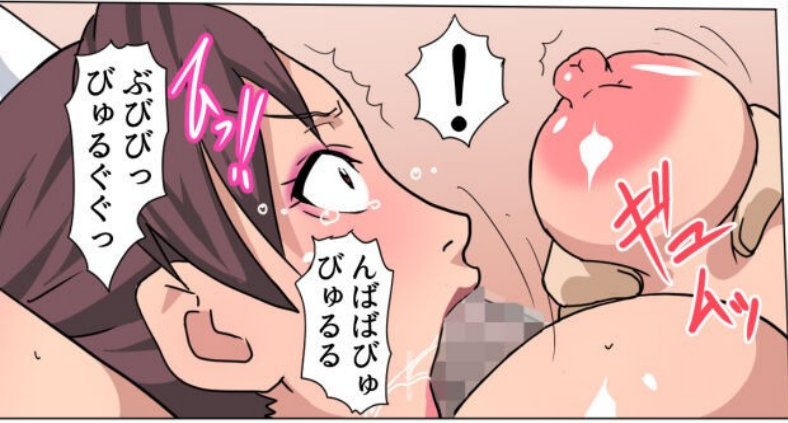


ならおばさんも俺のアソコいじってよ

ズッ  
ズッ

んんんーっ

そんなこと...  
あぶらびらびら



びゅびゅ  
びゅるる

んばびゅ  
びゅるる

!

キョッ  
キョッ



コーチとはもっと  
激しかったんでしょ?

んんびゅびゅ  
びゅぶりゅ

ホラ...そんな顔  
しないで

ズッ  
ズッ  
ズッ



うぶっ

じゅびうう

ふんうっ

おら  
おら

ひあん

ぶびい



ハッ  
えっ



おっと



ひぐっ

ひぐうううう



かきまわしてやるから  
もっとメス顔見せるよ

ひんっ!  
びゅぶりゅ  
ばあああああ

ズッ  
ズッ  
ズッ



急にどうしたの？

ゴロン

いやあ……  
なんか俺ばっかり攻めて  
おばさんキツイかなって

そ……それは  
そうかも



……

サッ



だろ？だから  
今度はおばさんが  
好きにしていって

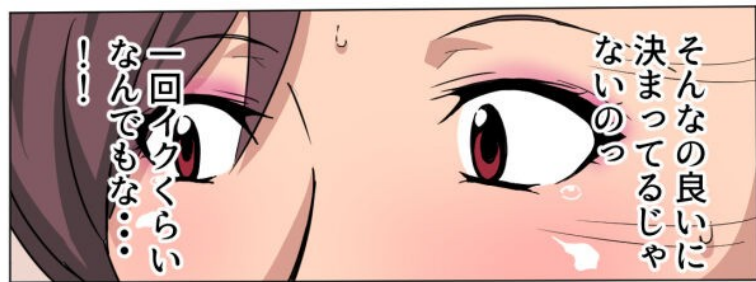
好きになって……

おばさんが後一回  
いったらそれで  
もういいや

わたしが次イったら  
終わりでもいいの？

えっ？

ああ



そんなの良いに  
決まってるじゃ  
ないのっ

一回イクくらい  
なんでもな……  
!!!



ほ……本当に？  
それでもう許して  
くれるの？

ああ……いいぜ  
ノートも返すから  
捨てるなり燃やすなり  
していいよ

そう……やっぱり  
よしクン良い子ね！



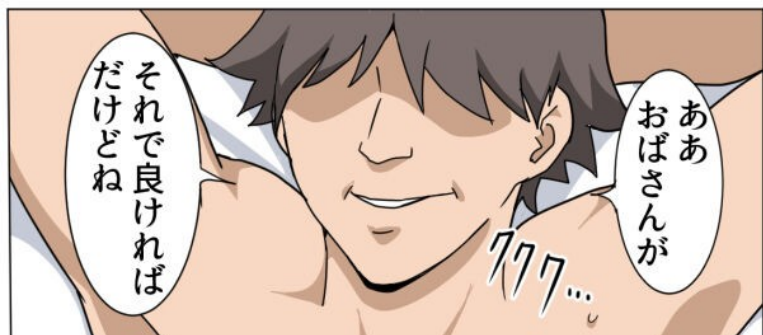
な……なにこれ  
この子のこんな  
大きかったの？

わたしこれを挿れたり  
啜えたりしてたの？

今までじっくり見て  
なかったけど……  
血管が太く浮き出て  
カリもすごく張ってて

旦那のとは全然  
違う……今こんなの  
挿れたら！

おばさんどうした？  
始めていいぞ



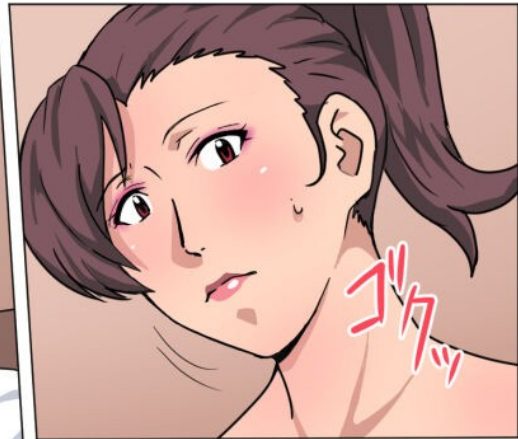
ああ  
おばさんが

それで良ければ  
だけどね

ククク……



そ…そうね  
わかったわ



ゴクッ



ツツ  
ぽっ



すごい脈打ってて  
硬い…

こんなの挿れたら  
…わたしすぐに

そうだわ…ゆっくり

ゆっくりすればきつと  
大丈夫



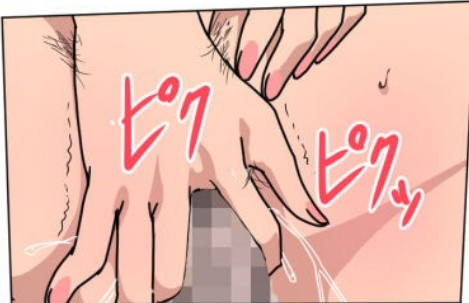
ゆっくり

ゆっくり

って…あれ？  
わたしどうして  
こんなコト

すぐいったら  
それで終わるのに

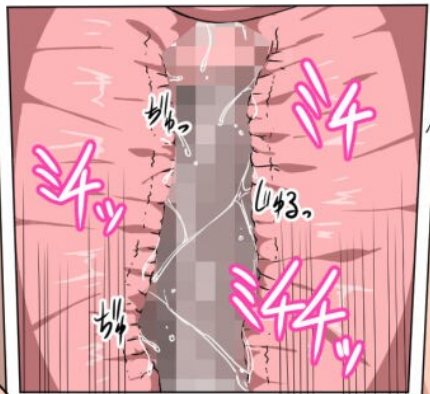
どうして…？



ピョッ  
ピョッ



んっ  
ツツ



ツツ  
ぽっ  
ツツ  
ぽっ



んっ



スッ  
ツツ



んんん！

んん

ん…うくく

んん

んっ







お前もう何度も  
イってるだろ？

えっ…

ガッ…

おいっ！

ガッ



やらせてよ

好きにして  
いいんでしょ！

もっ！  
もっ！



そんなに潮吹いて  
るのにかよ？

ヒョーン



い…  
いいじゃないっ

こ…  
これは



い…いってないわよ

まだよ…まだ  
イってないのよ  
だから…



そしたら  
いくらでも  
やらせてやるよ

えっ…

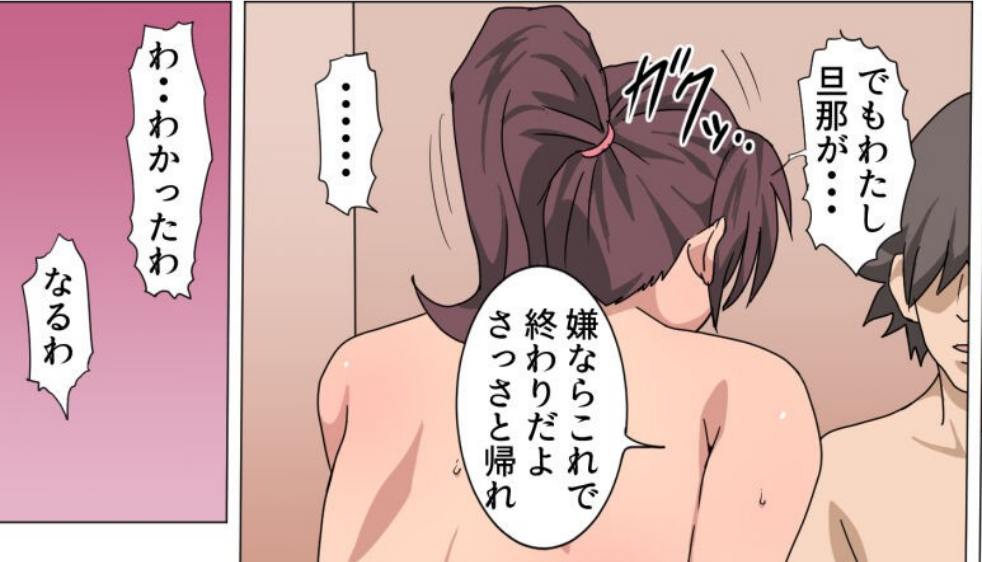
だったら俺の  
セフレになれよ



わたし…  
こんなの初めてで

…それは  
そうだけど

だからなんだよ？  
もうイったんだろ



…

でもわたし  
旦那が…

嫌ならこれで  
終わりだよ  
さっさと帰れ

わ…わかったわ

なるわ



んぐううう  
ううううう

オオオオ!

だから...

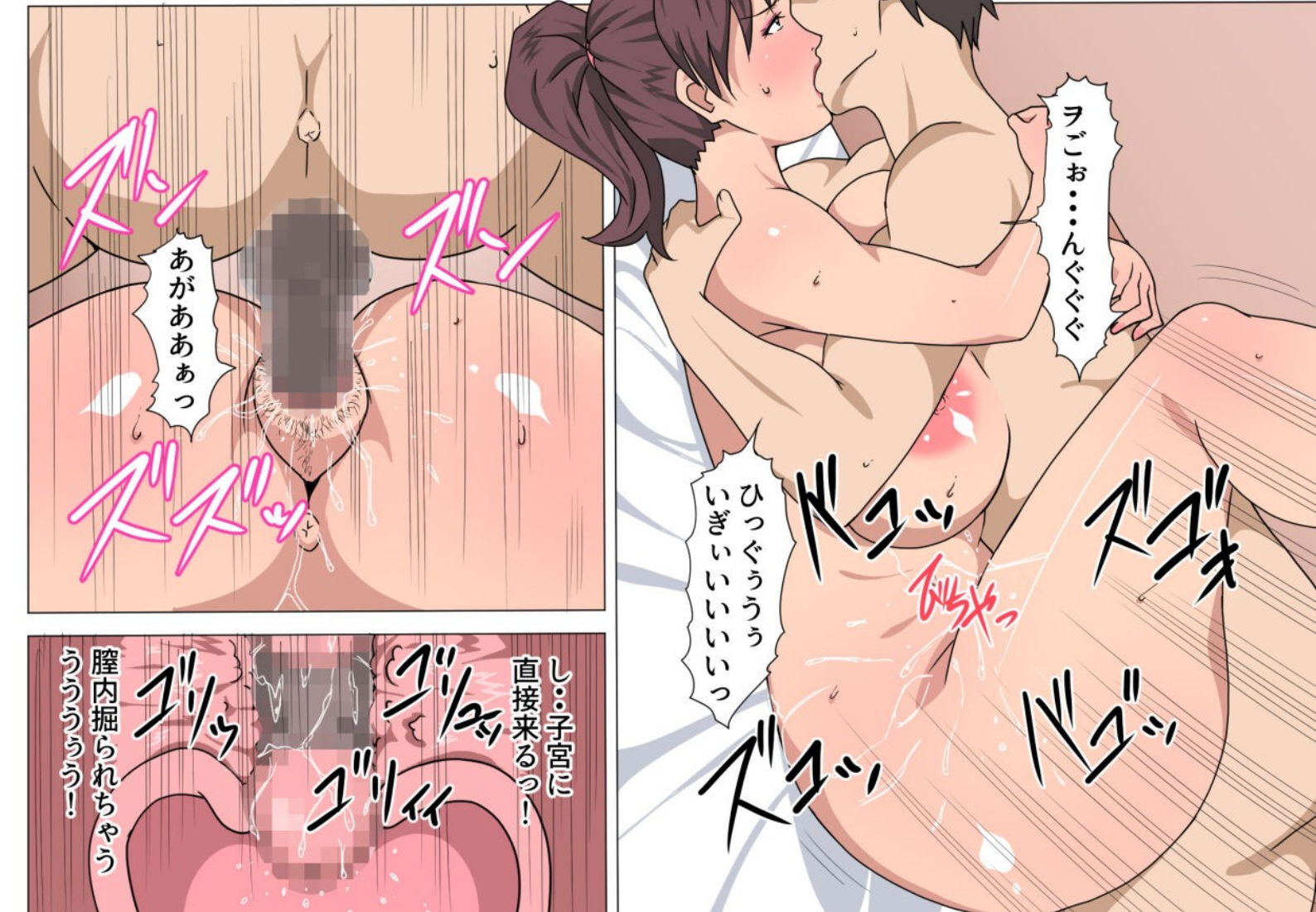
ズ...

いざ

ズンズン

オオオオ

ひいぐうあああ  
あああああ



フゴお...んぐぐぐ

ひいぐううう  
いぎいぎいぎい

あがあああ

し・子宮に  
直接来るっ!

膣内掘られちゃう  
うううううう!

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン  
ズンズン





このチンポ相手なら  
何だってするわ

わたしのおまんこ  
いつでも差し出すから

もつと膣内を  
えぐって欲しい

あぐっ

ひいぐぐっ

好き放題何時間も  
犯して欲しい

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ



この子のチンポに  
恋しちゃったの

チンポ大好きに  
されちゃった

ズッ

ズッ

ズッ



すげっ  
無防備なメス穴をぎゅんぎゅんに  
締めて感じてやがる...

この淫乱ビッチ  
主婦が!

だってえええええん  
ぎもちいいひいいんだ  
もんんんんっ!



フゴおおお  
おおっ

あひいい

ズッ

ズッ



本当にごめん  
なさいアナタ

チンポに屈した  
わたしを許して

ズッ

ズン

ズッ



ここのまま  
イカせてえっ

こんな交尾みたいな  
セックスするとか

最初に抵抗した  
のが嘘みたいだぞ

だって……  
アナタのチンポ  
凄いんだもん



イクッ  
イクイクイクうう  
うううううう!

膣内にあふれてえええ  
ええええええっ!

ああああ  
ングううううう  
ううううう

熱いのがあああ  
ああああん

チンポに誓いますううう  
この身体好きにしてえええ  
えええええんっ



よし・じゃあ  
なんでも言うこと  
きくんだな?

きくわっ  
きくからああ



これからお前は俺の  
メス穴だからな

いつでもどこでも  
ヤラせるんだ  
わかったな?

わ・わかったわ  
どこでも好きな時に  
おまんこ使つてえ!



いいぜ・じゃあ  
好きにだけ  
イケよ!

オラああ  
ああっ!

んひつきいい  
いいいいいい!





それから

旦那が居ない日はセックスに  
明け暮れるようになった

遅いから  
なんだよ?

あの人今日は遅いから  
.....

あああああああ  
いいわっ

好きなだけ  
ハメていいのよ

パコ  
パコ  
パコ

パコッ



ほら  
こっち向けよ

どうハメるかは俺が  
決めるんだよ

してほしけりゃ  
その恥ずかしい  
格好でせいぜい  
アンアン言うんだな

あああああ  
やめないでええ

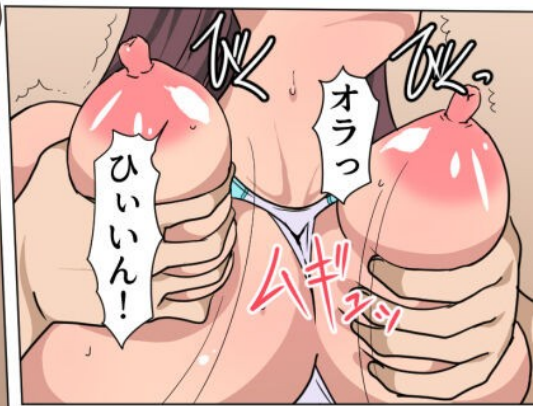
ズググ  
ズググ



おばさん自分が  
したいだけだろ?

ち・違うわよ

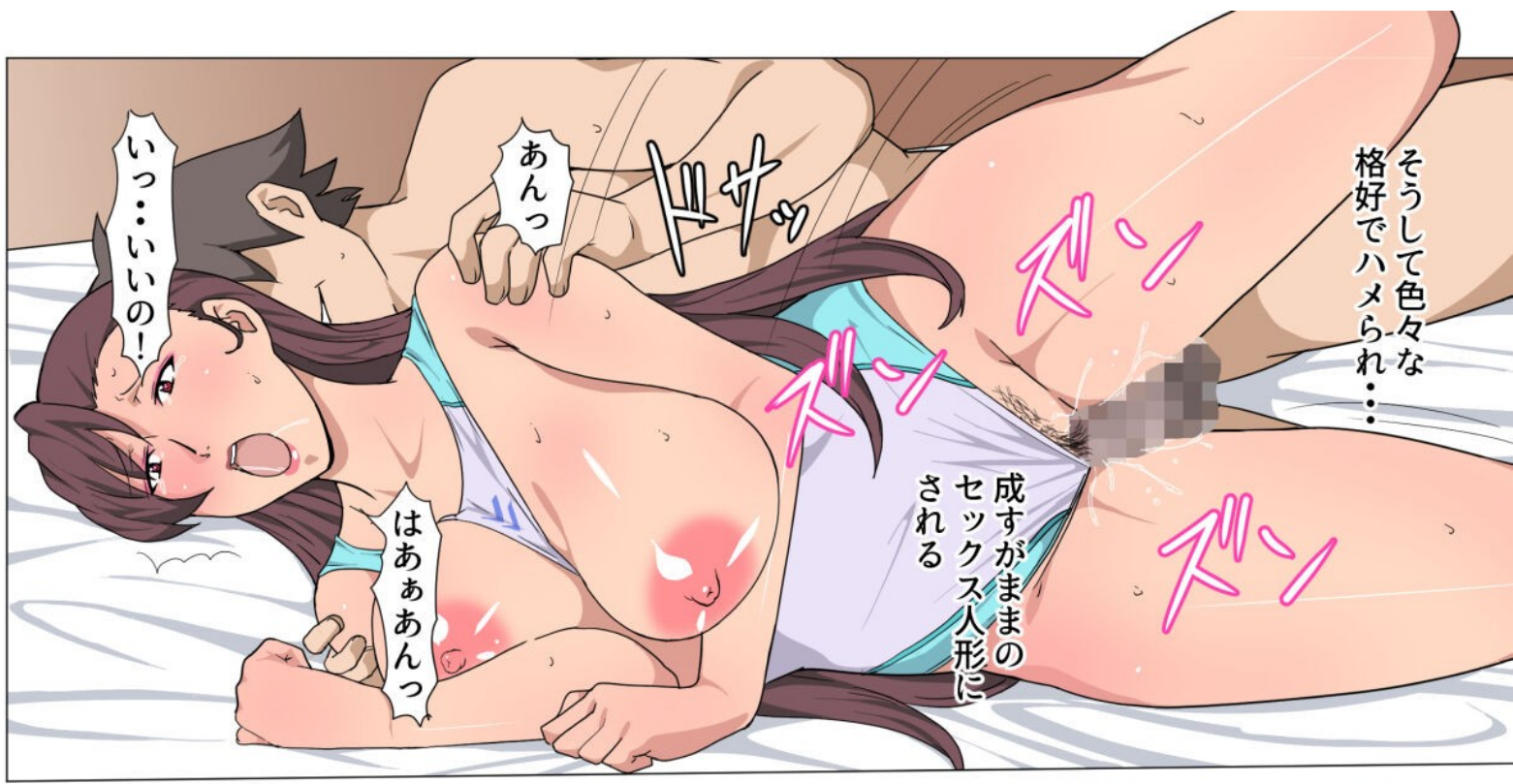
グッ  
グッ



オラッ

ひいん!

ムキッ  
ズグ



そうして色々な格好でハメられ...

成すがままのセックス人形にされる

あんっ

グッ

グッ

グッ

はあああんっ

いっ...いっの!!



あぐろろろっ

グアイッ

わたしは片手間で犯されながらなんとか彼の注意を引くには

ふんんんんんっ  
んうんんっ

アソコにぎゅっと力を入れるしかない

今ジムで筋トレ中なんだよ...

なんかオバさんがめっちゃめっちゃ頑張ってるw

変な声? ああ:隣の人かな

グッ

グッ

グッ



あひいっ

グッ

グッ

やああんっ  
変な音出ちやうう...

わたしを好きに犯しながら...

彼はセックス中でも友達とメールや電話をする

グッ

グッ

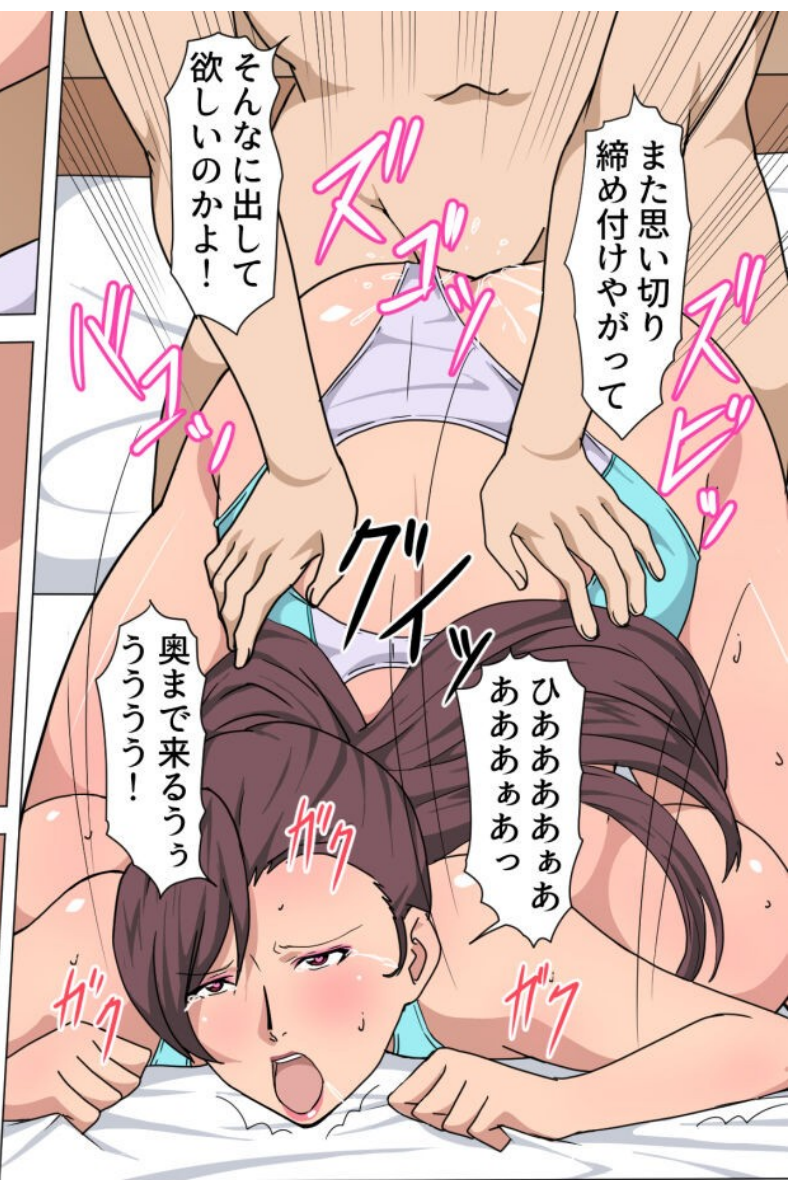
グッ

フンごおおお



チンポに  
屈してしまった  
わたしは...

もはや  
アソコでしか  
会話が出来な  
かった



また思い切り  
締め付けやがって

そんなに出して  
欲しいのかよ!

奥まで来るうう  
うううう!

ひあああああ  
あああああ



それでもいい  
...だって

ひいっ



あああああ  
あああああ

...こんなに

こんなに



こんなに気持ち  
良いんだもの

あああああああ  
気持ちいいひひひひ!

イグううううううう  
ううううううううう!

当然  
旦那が家に  
居る日は

わたしから  
出掛けて行く

また  
お出かけ？

ええ・ちよつと  
そこまで

そうか・最近  
なんだかおしゃれに  
なったね

そ・そうかな？

そうだよ

ヤダ・あんまり  
見ないでよ

近所の奥さん連中でこう  
いうのが流行ってるのよ

へえ  
そうなんだ

じゃあ  
行ってくるわね

ああ・気を付けて

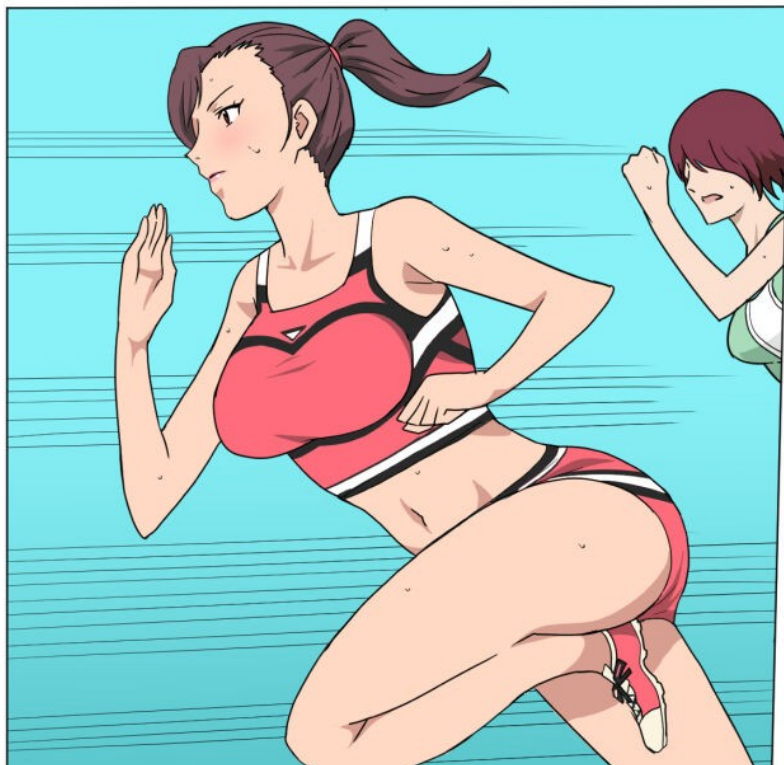
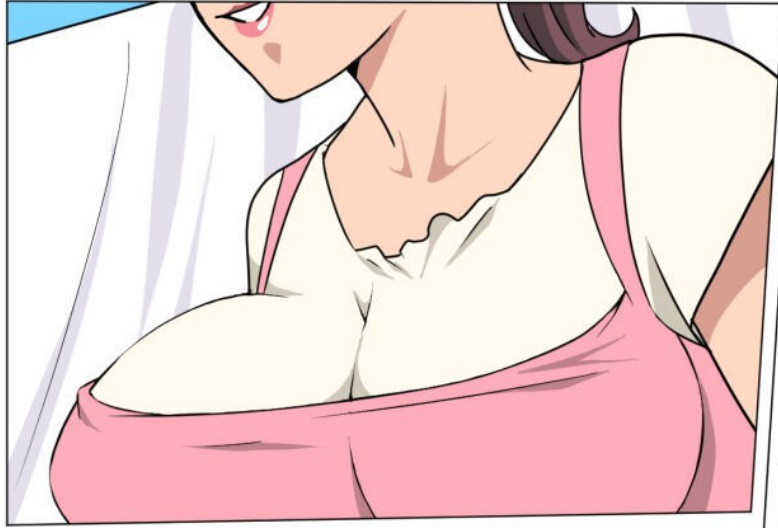
ホテルに着くまでわたしは  
身体の火照りを抑えきれず  
途中のトイレで何回も  
オナニーするのだった……

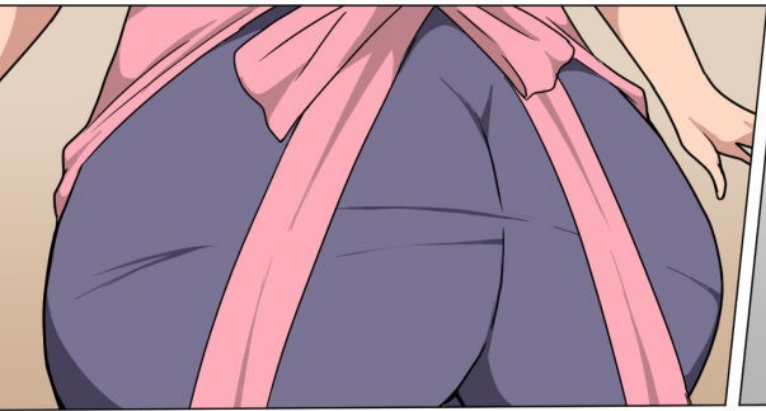
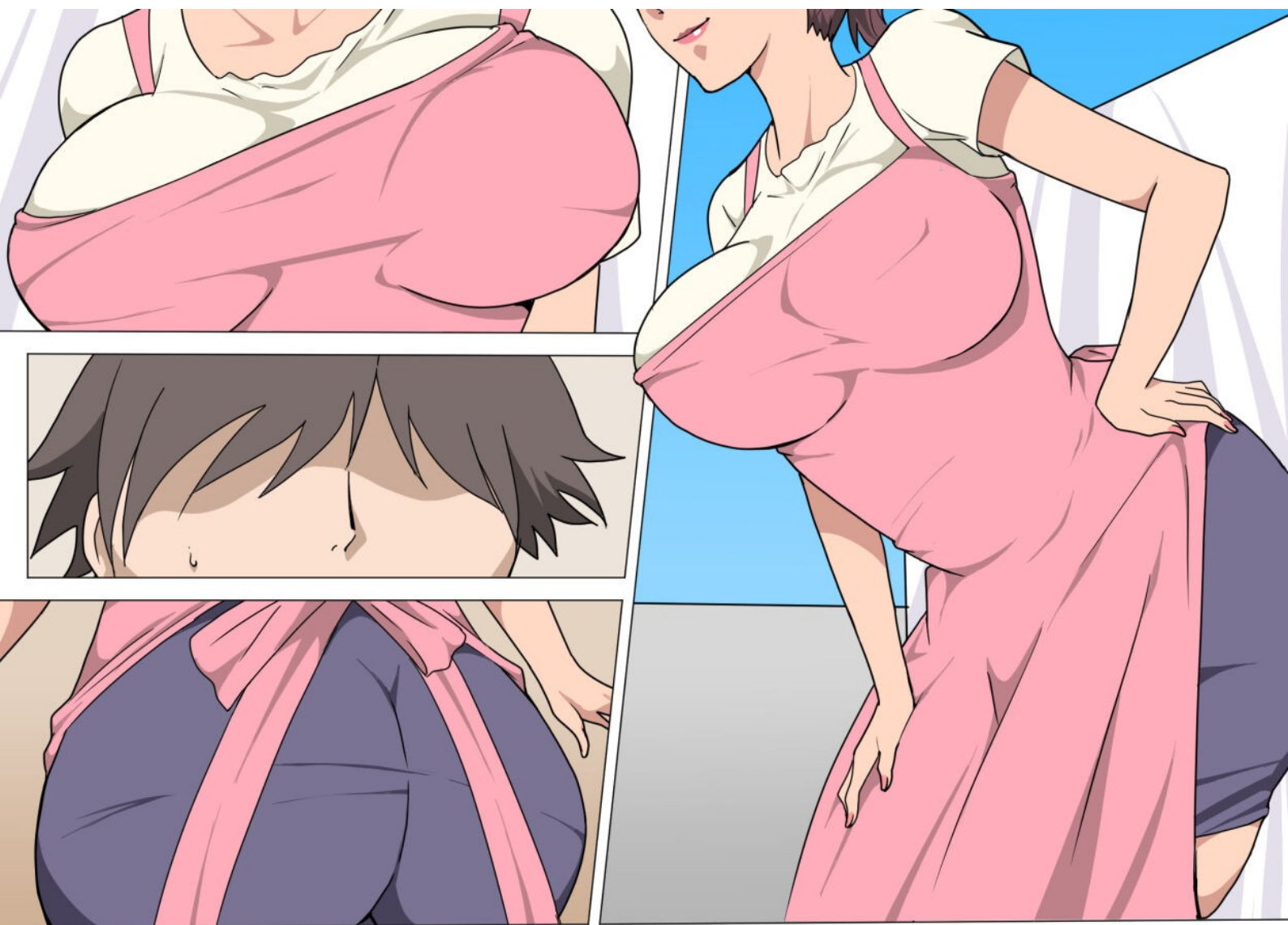
-END-

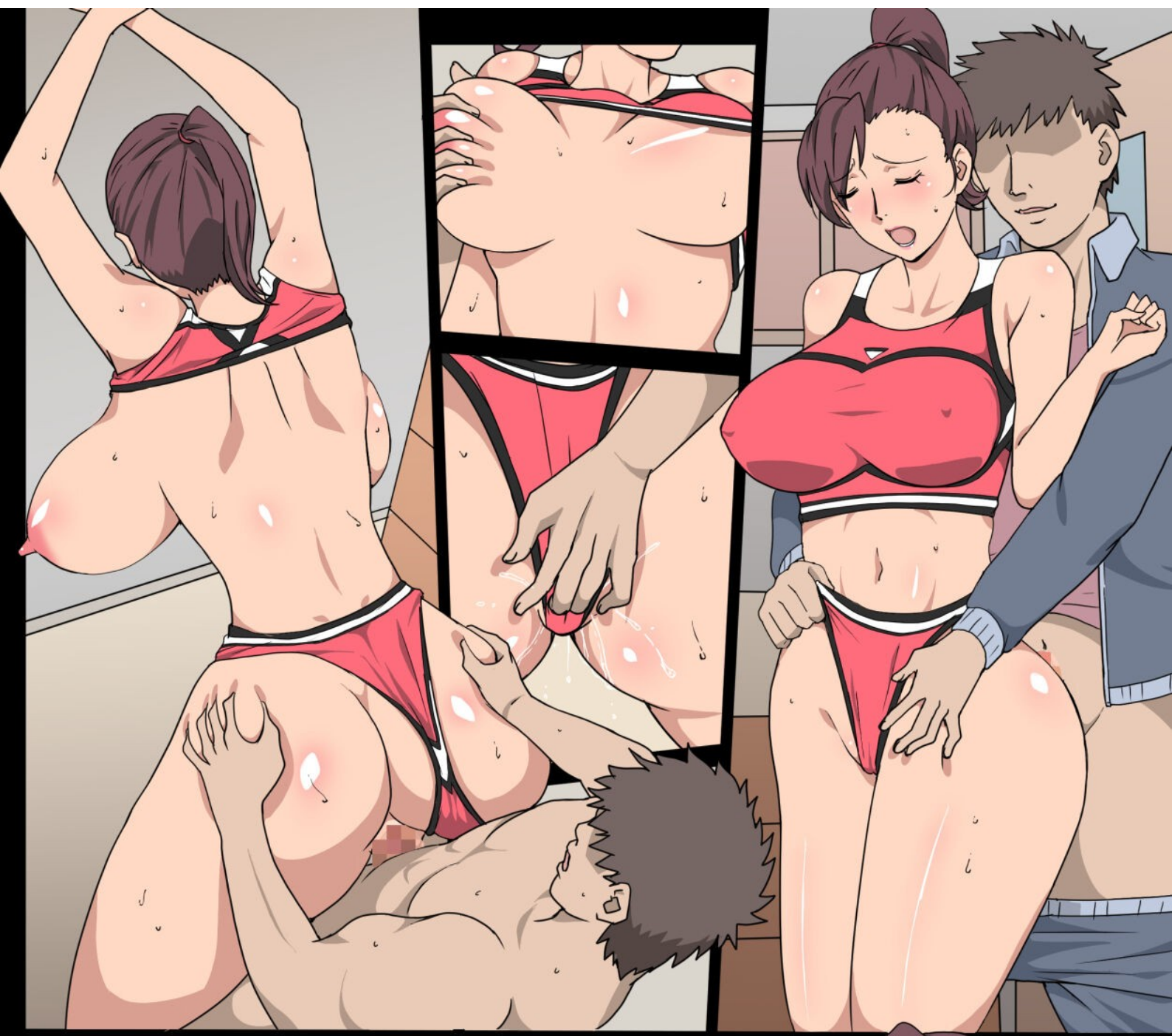
AA~..

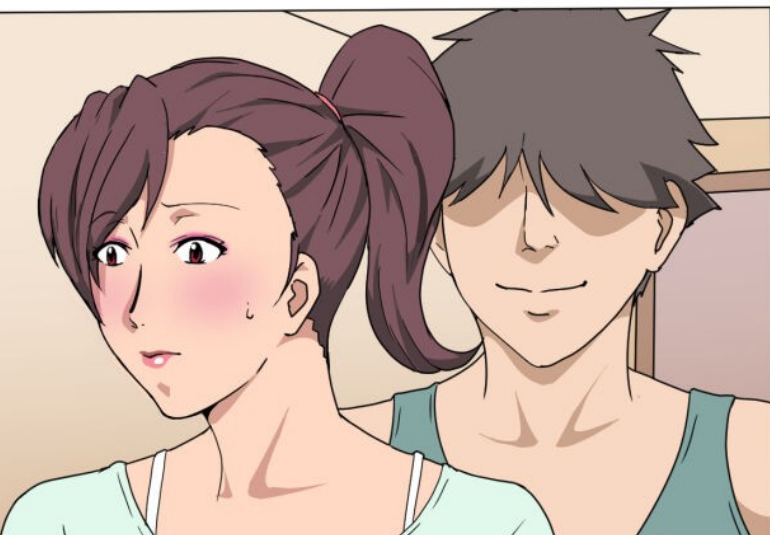
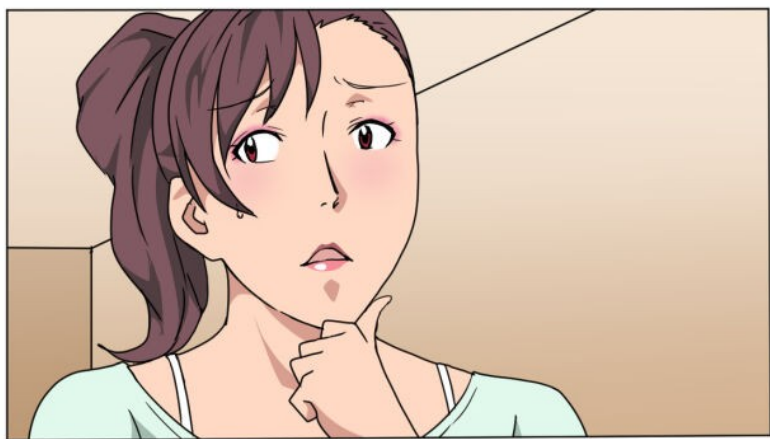


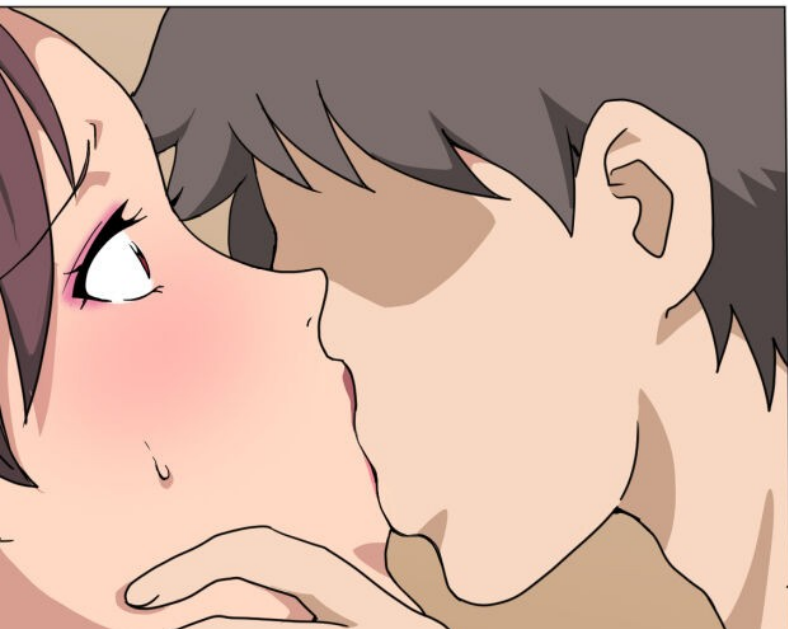


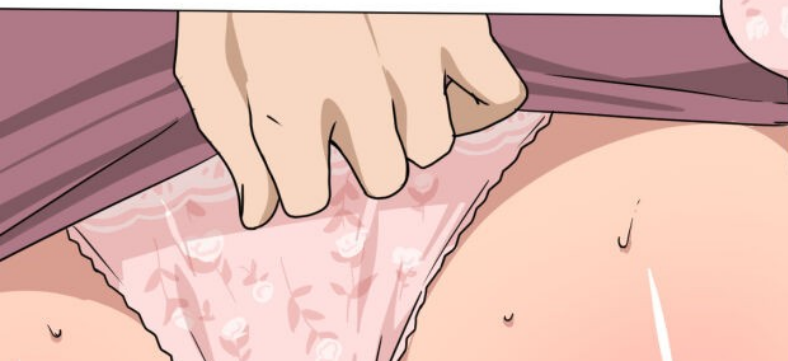
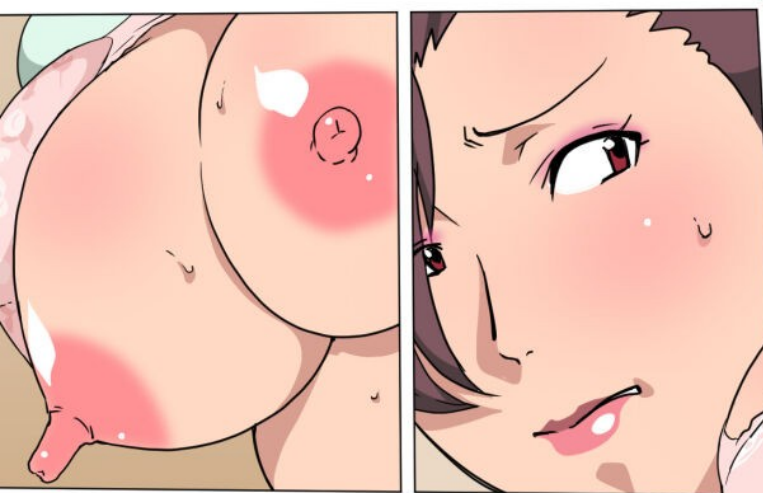
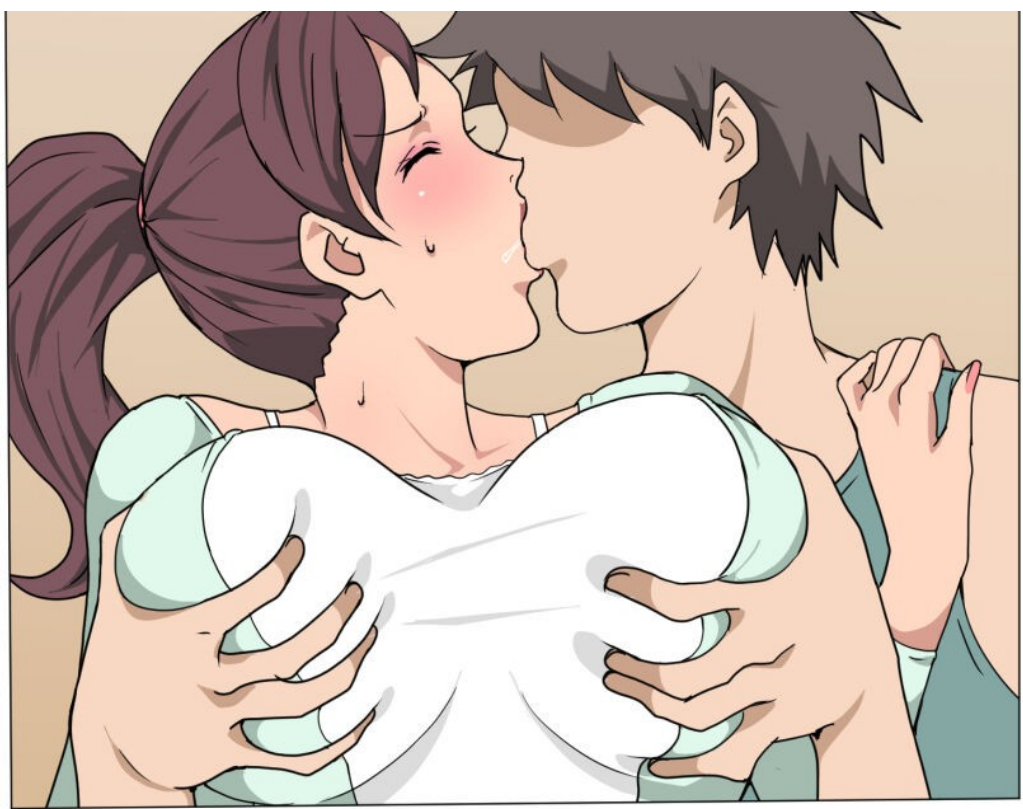
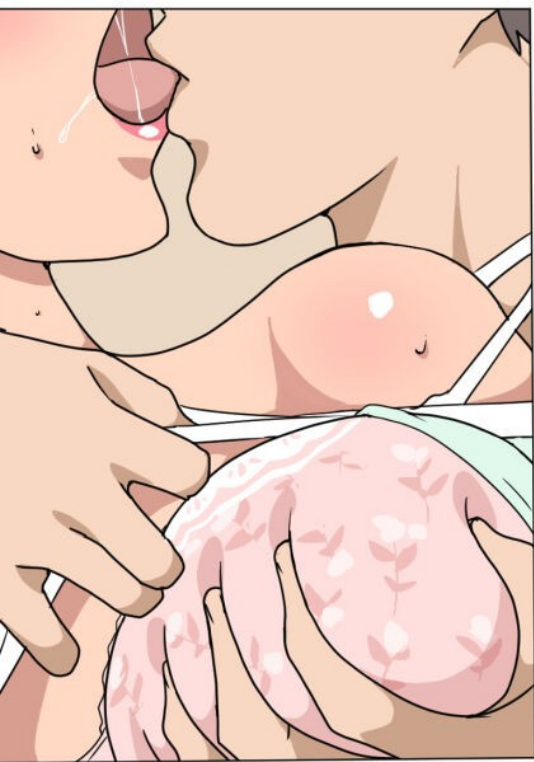


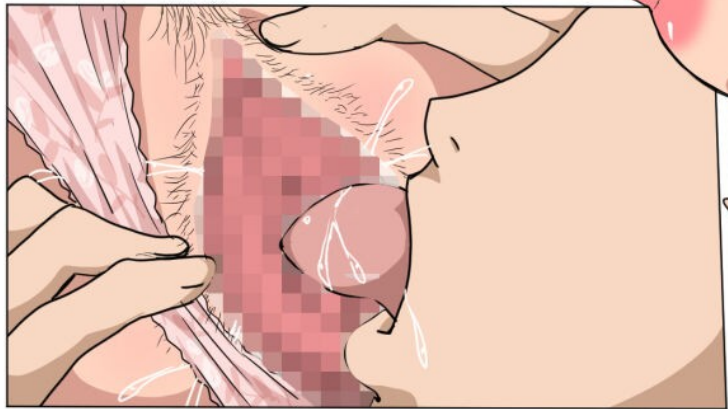


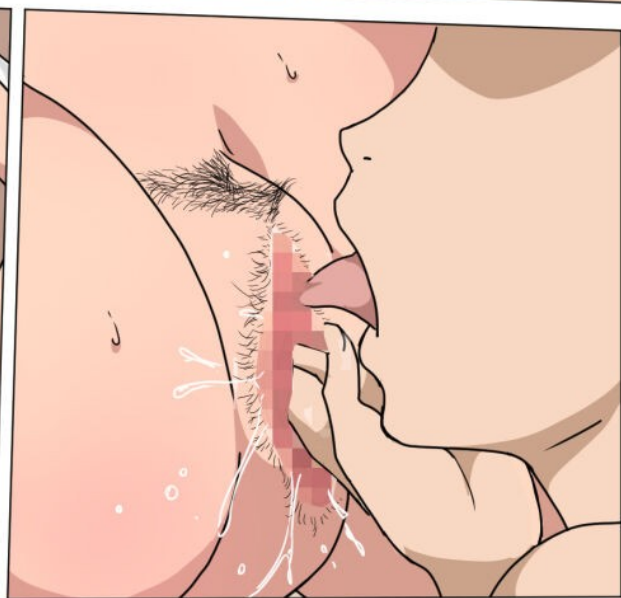
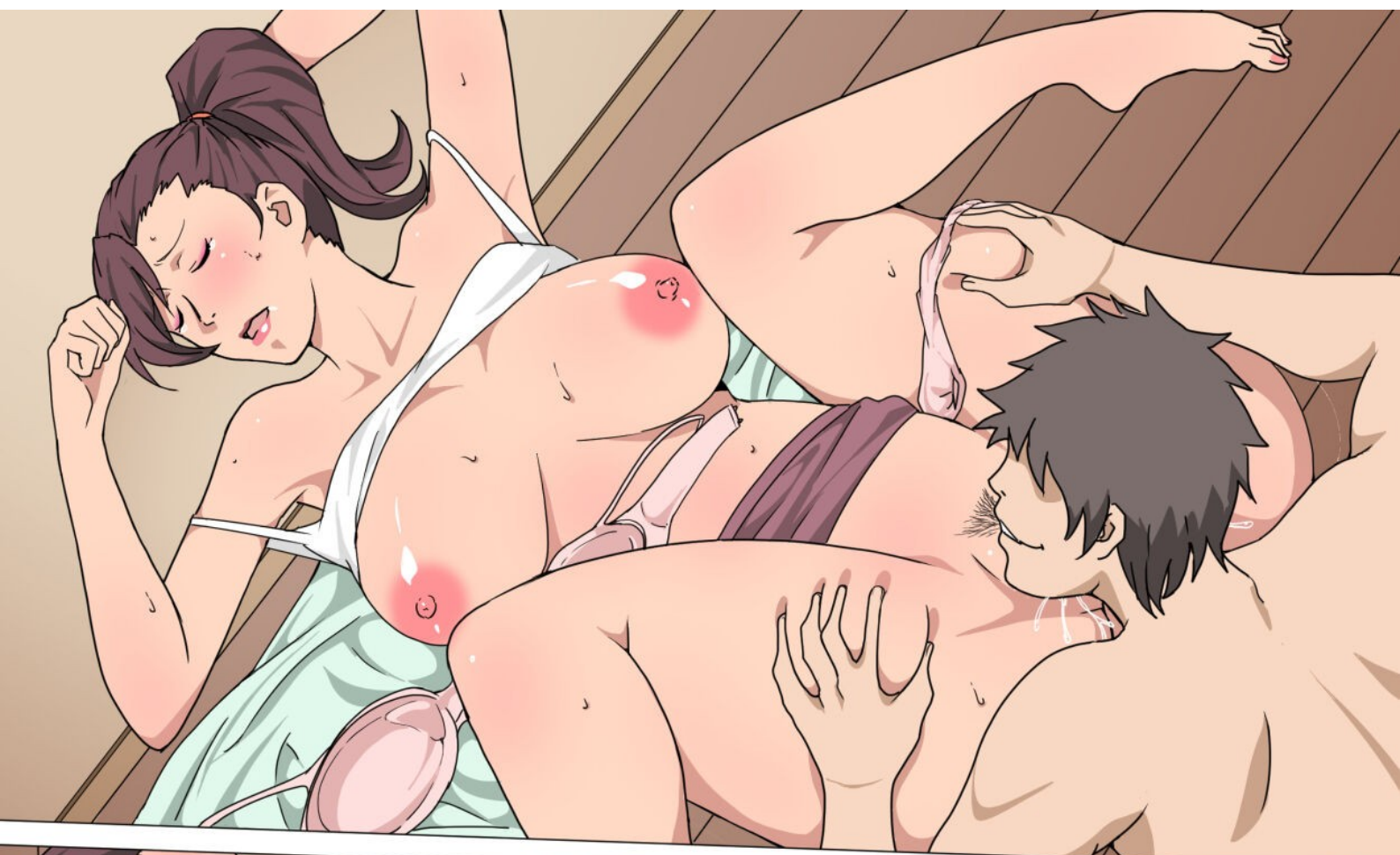


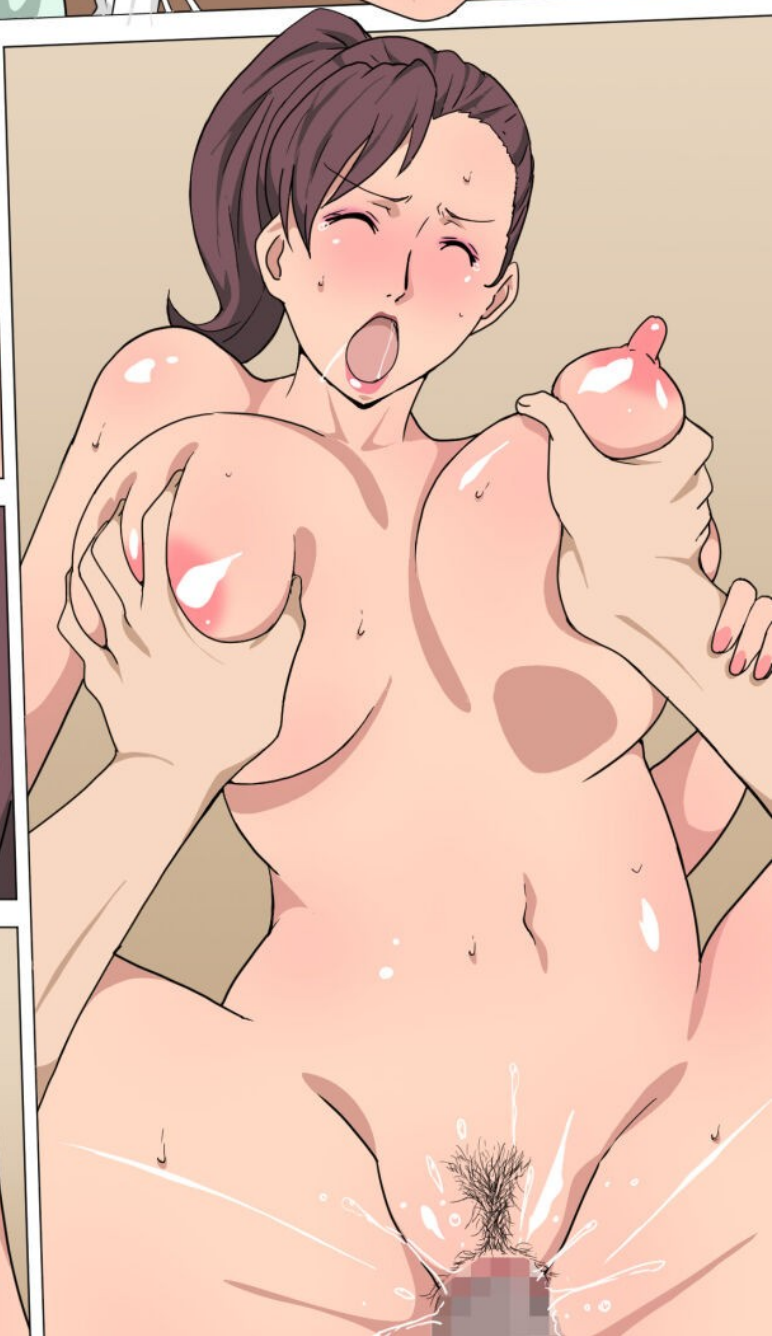
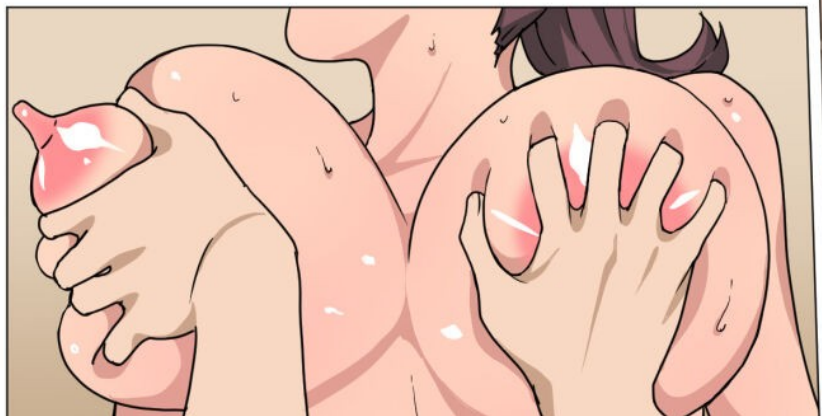
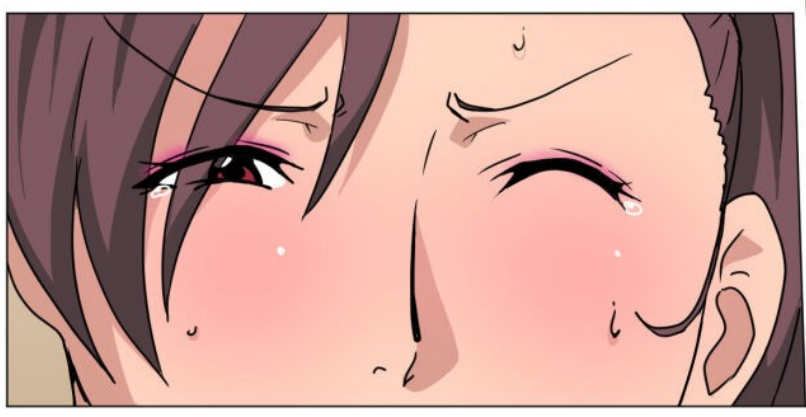




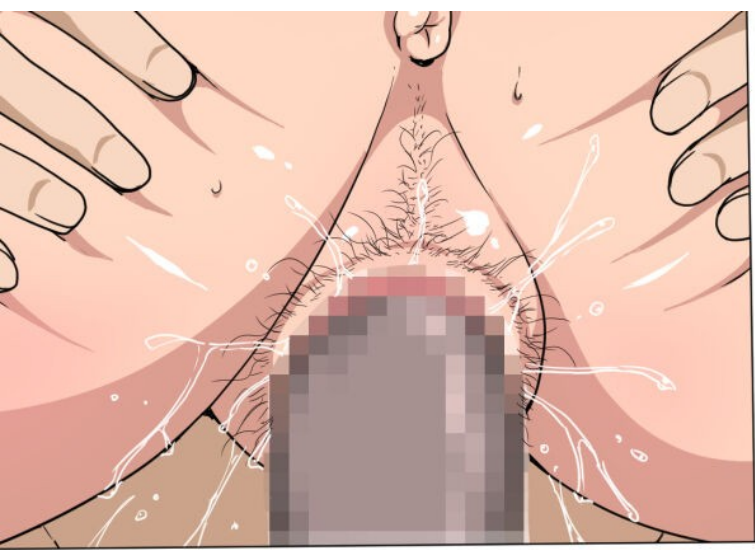




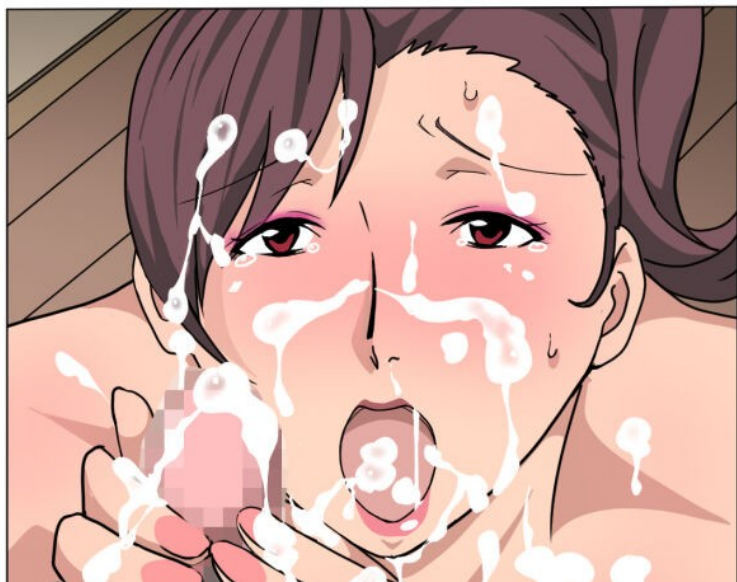
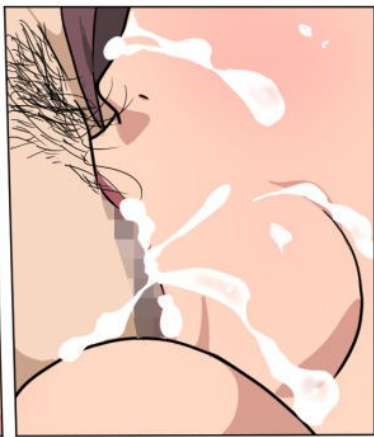
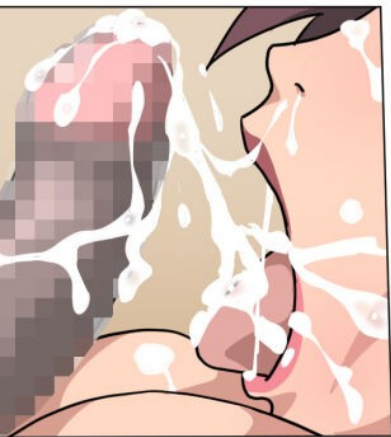
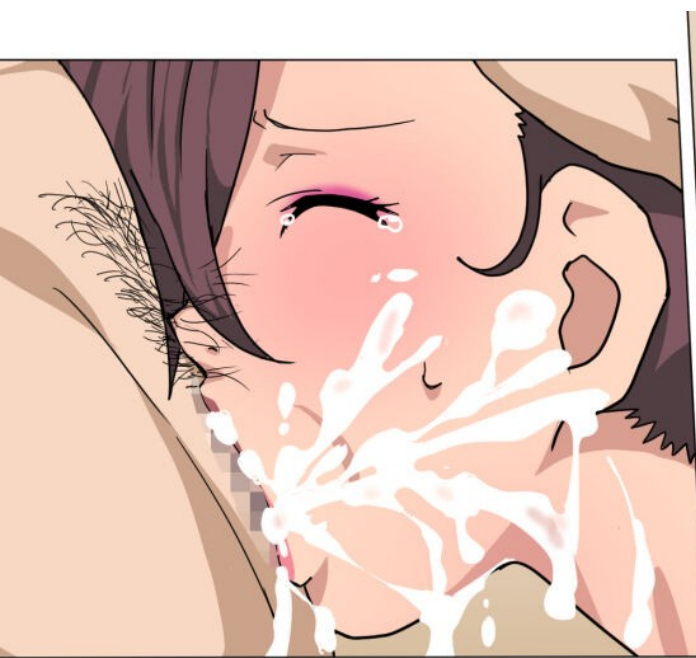


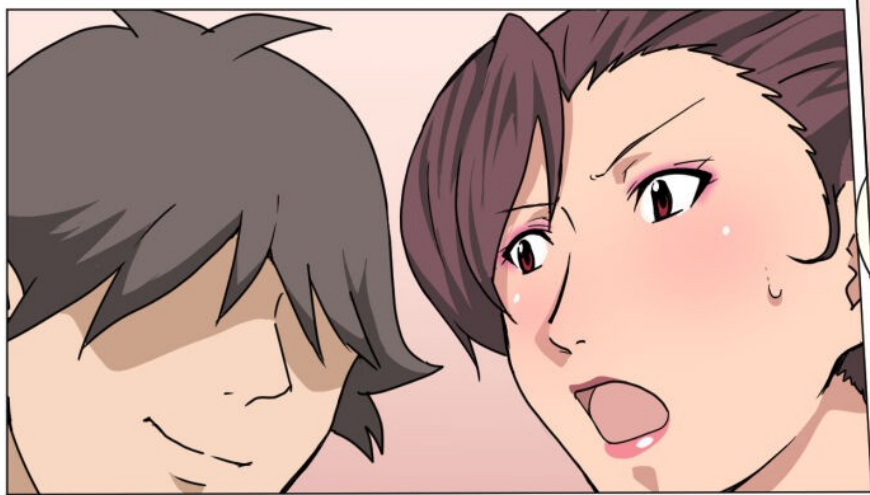
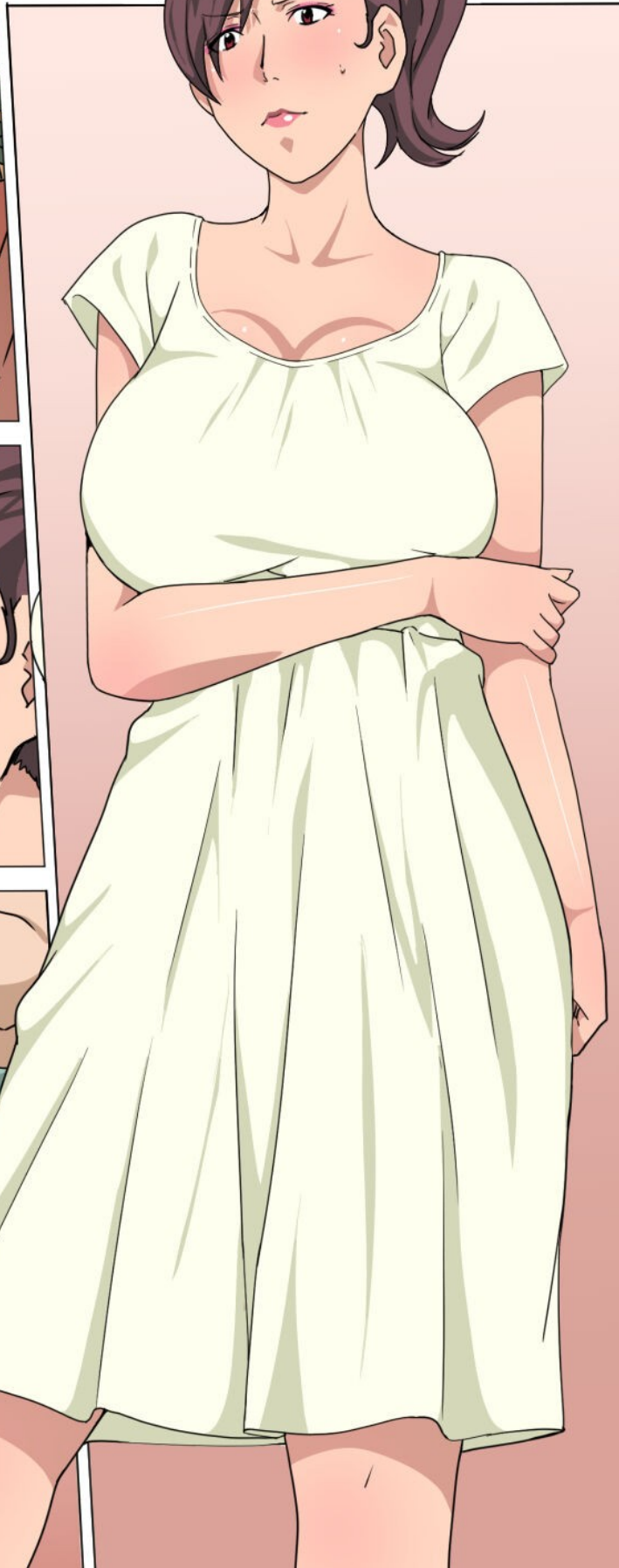
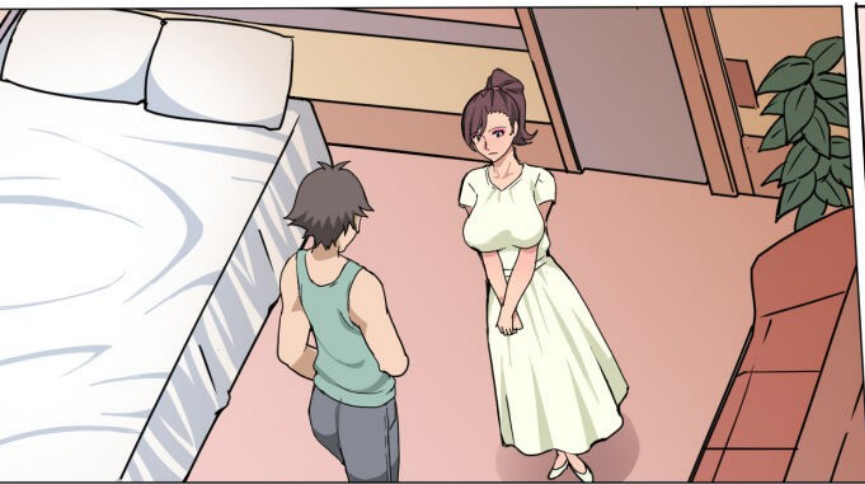
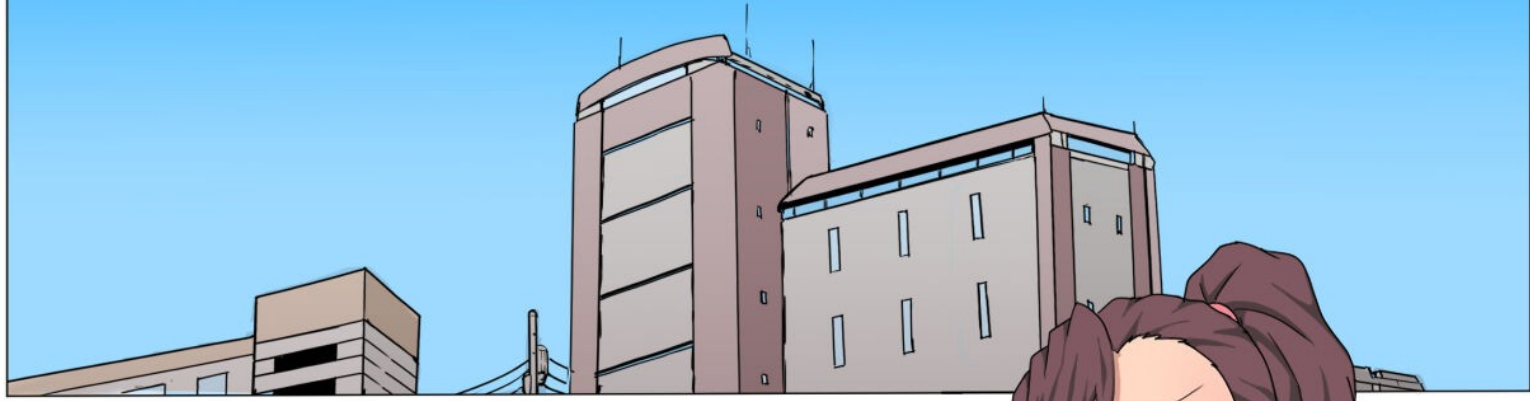


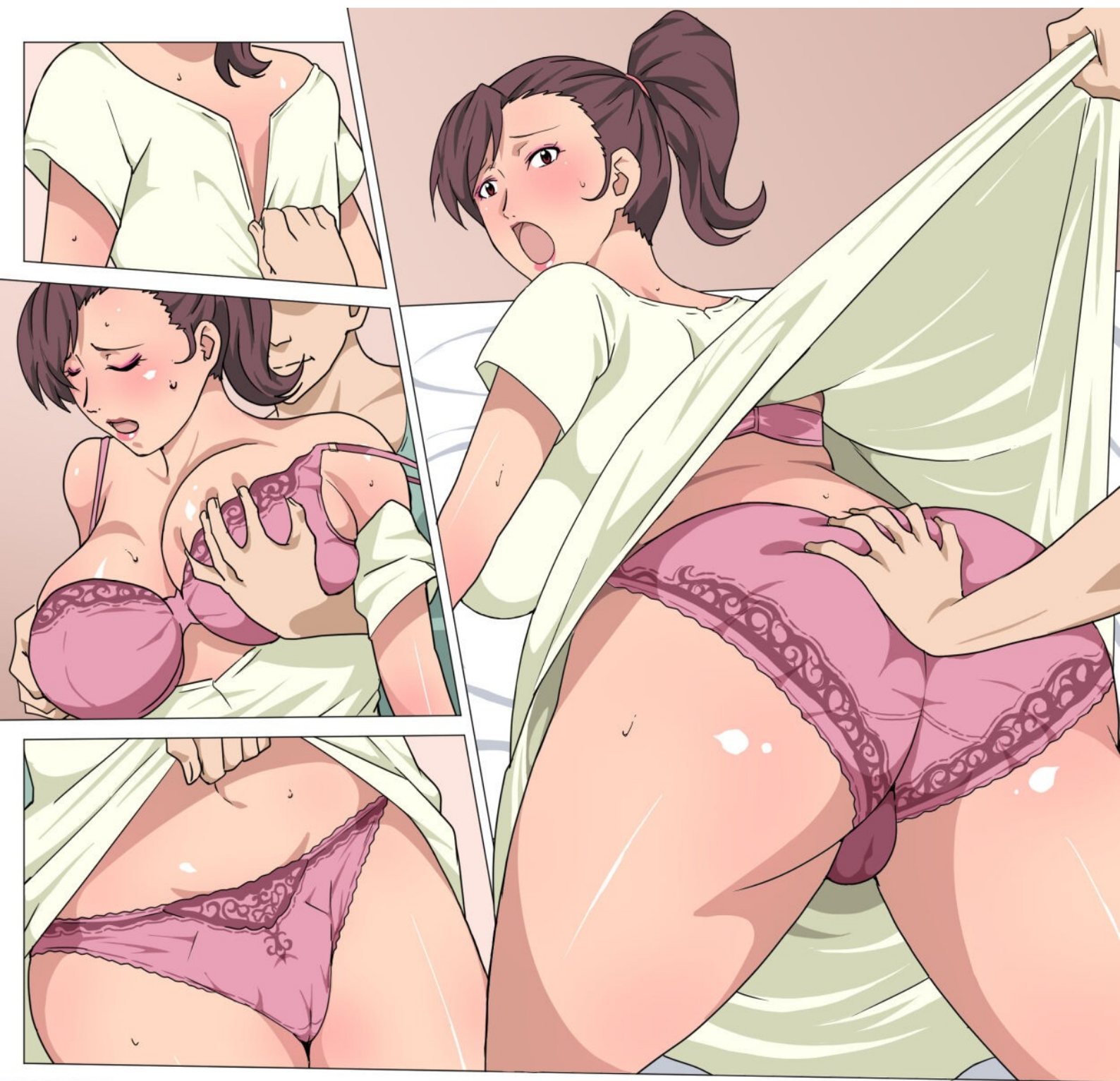




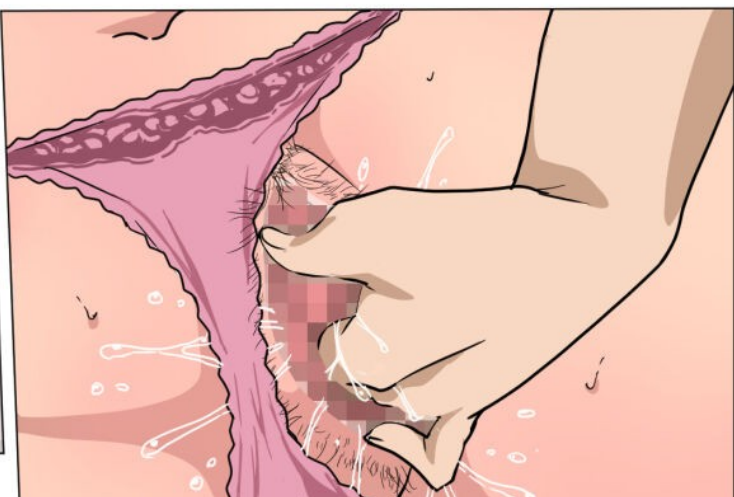
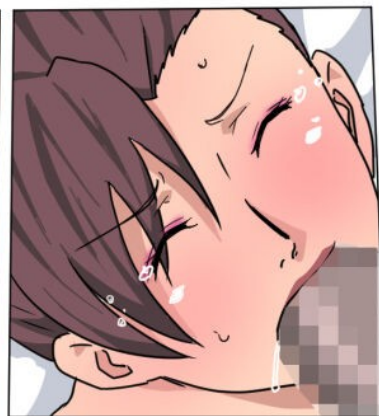
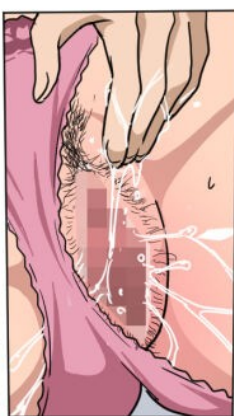
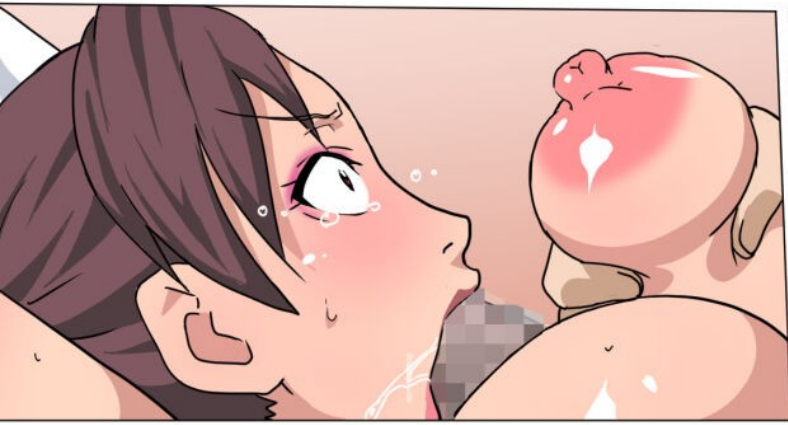


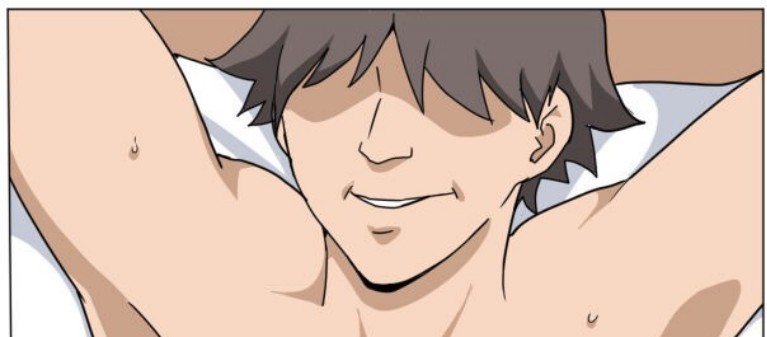
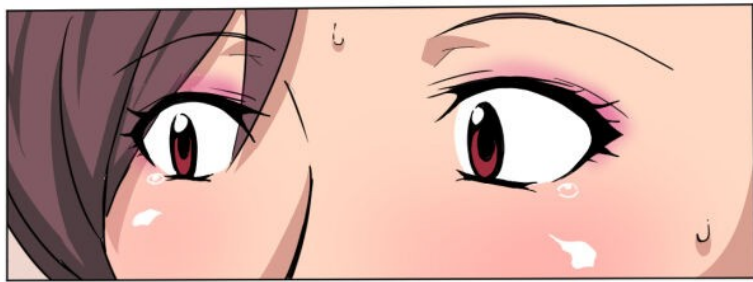
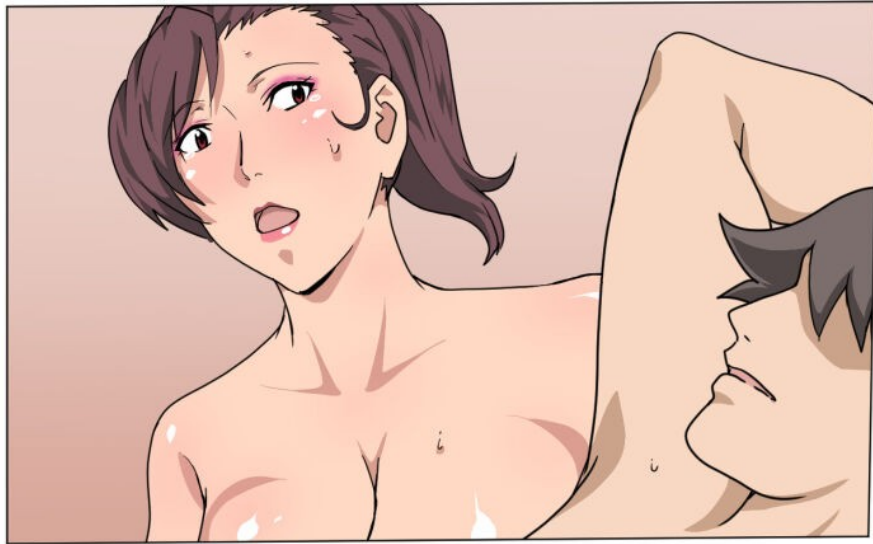
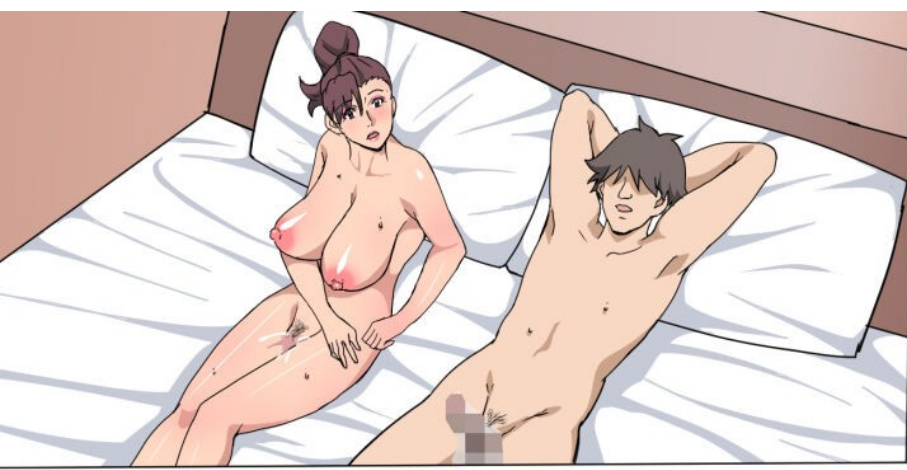


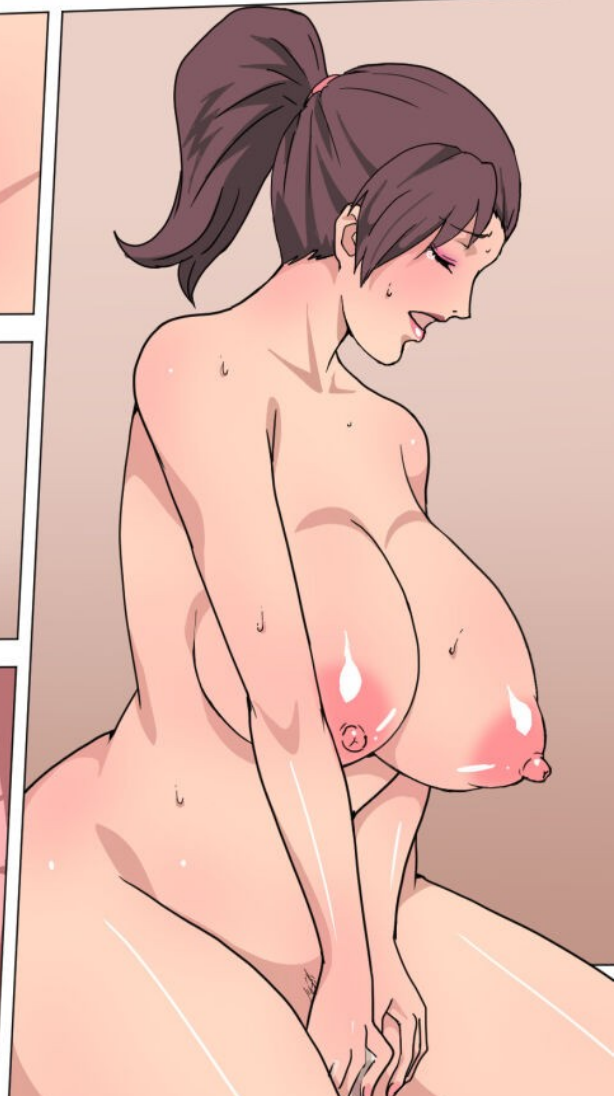
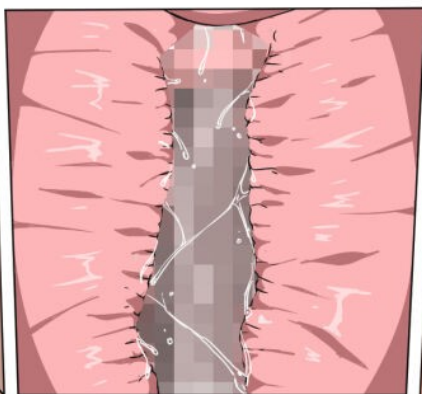
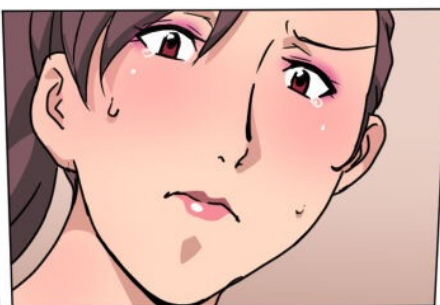
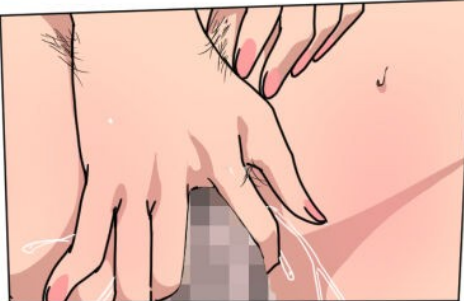
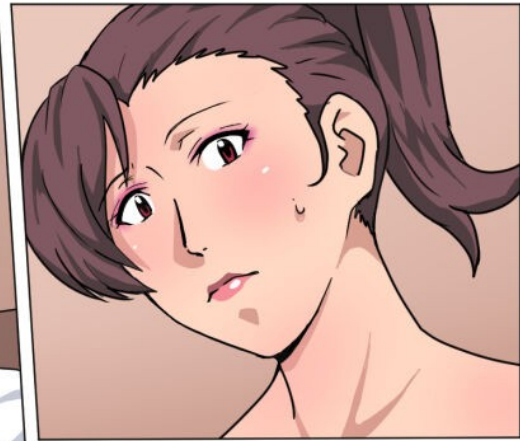
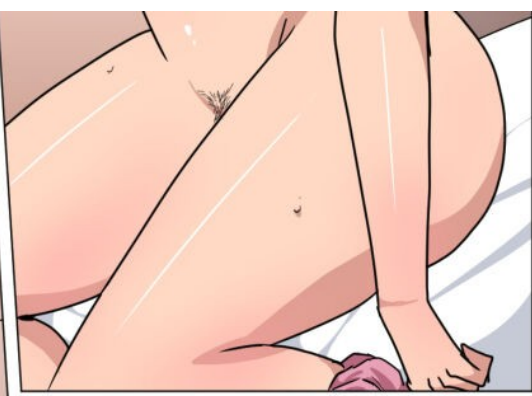


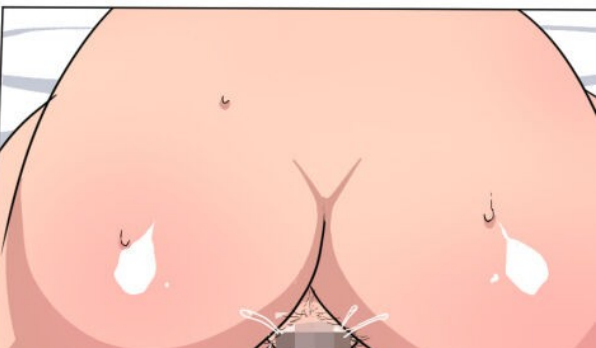
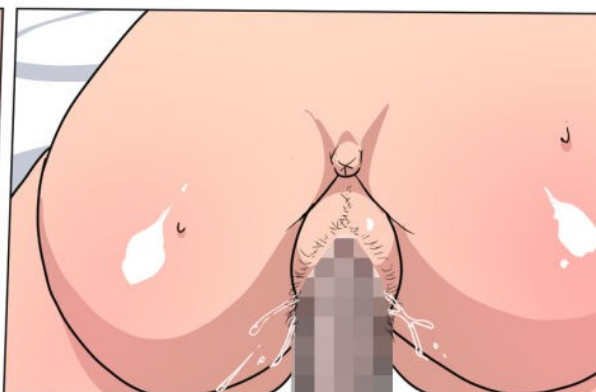
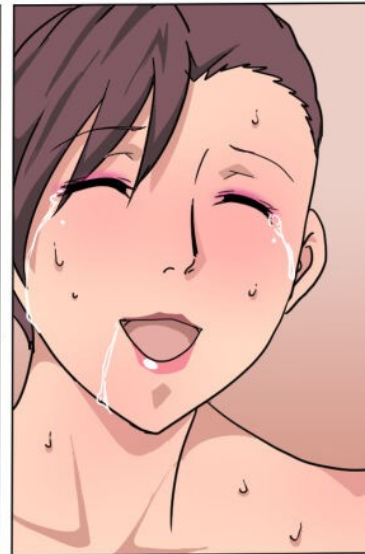
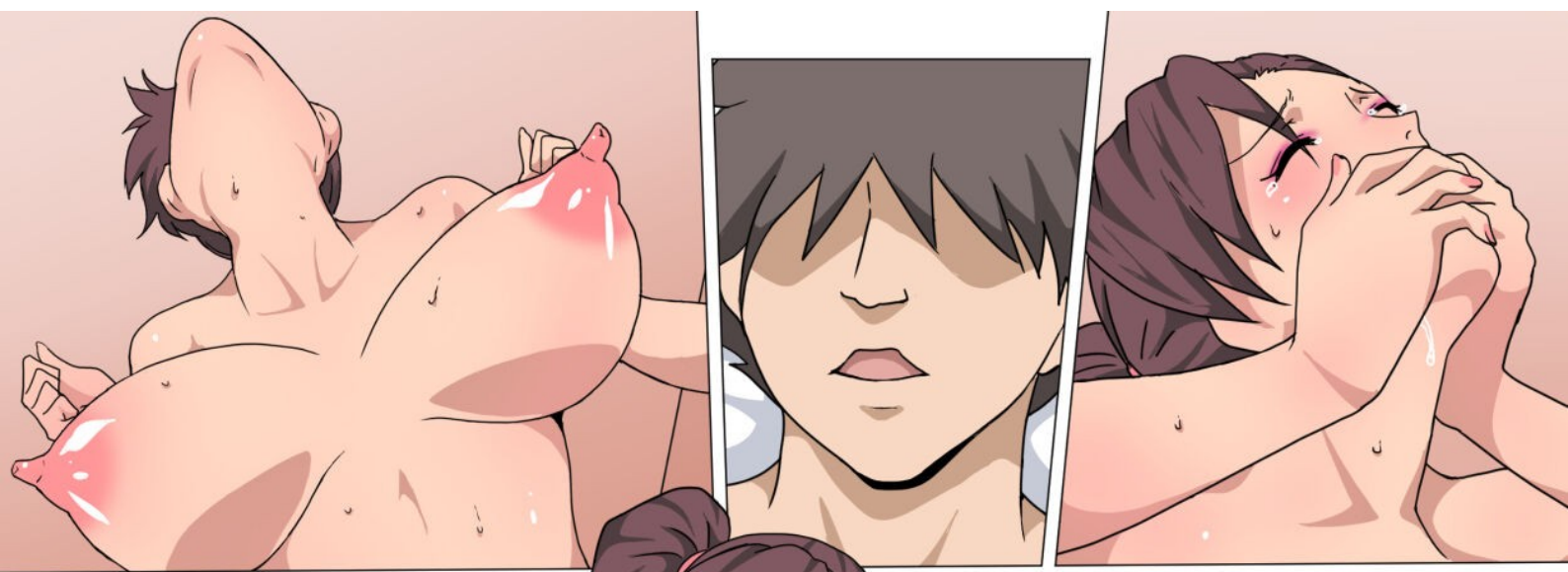


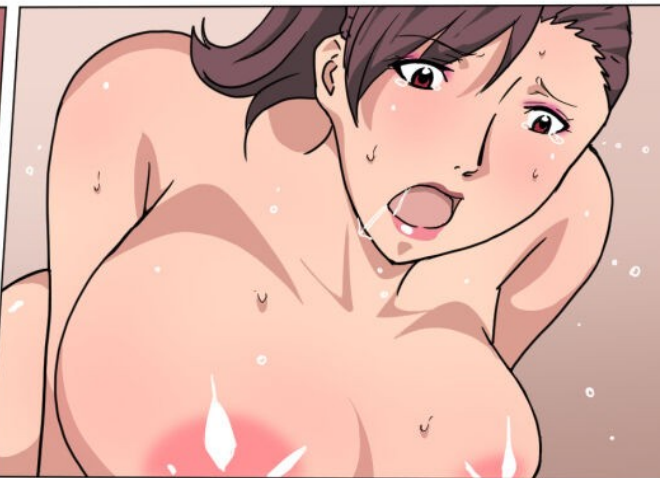
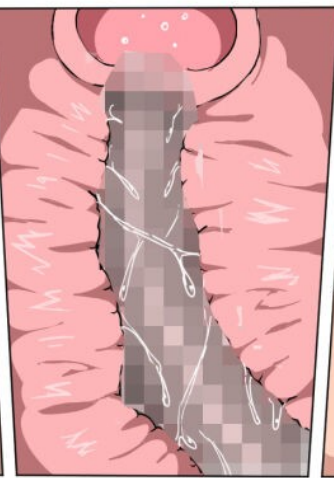


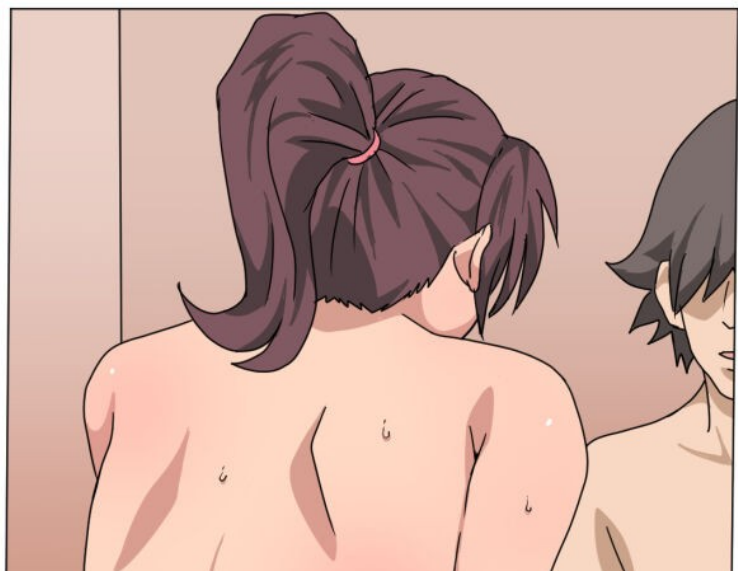
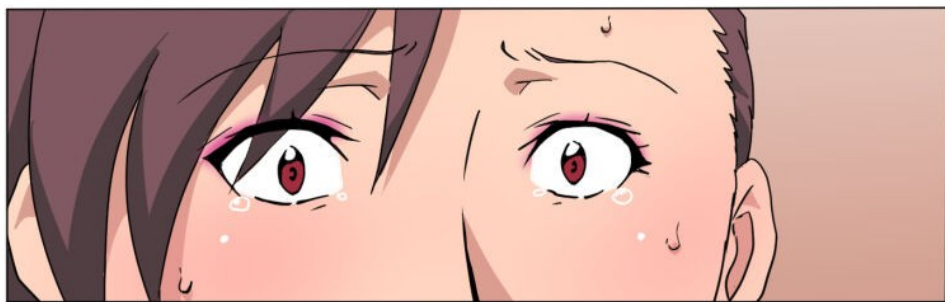


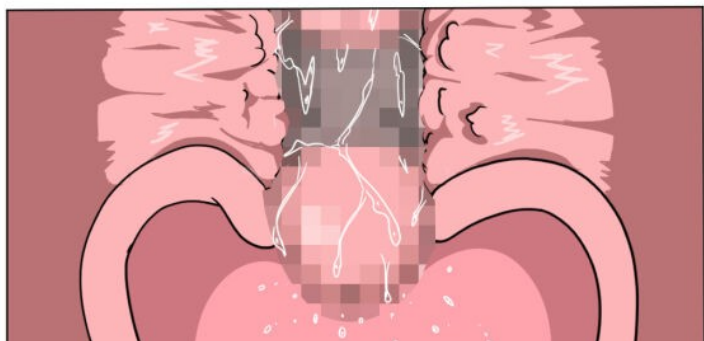
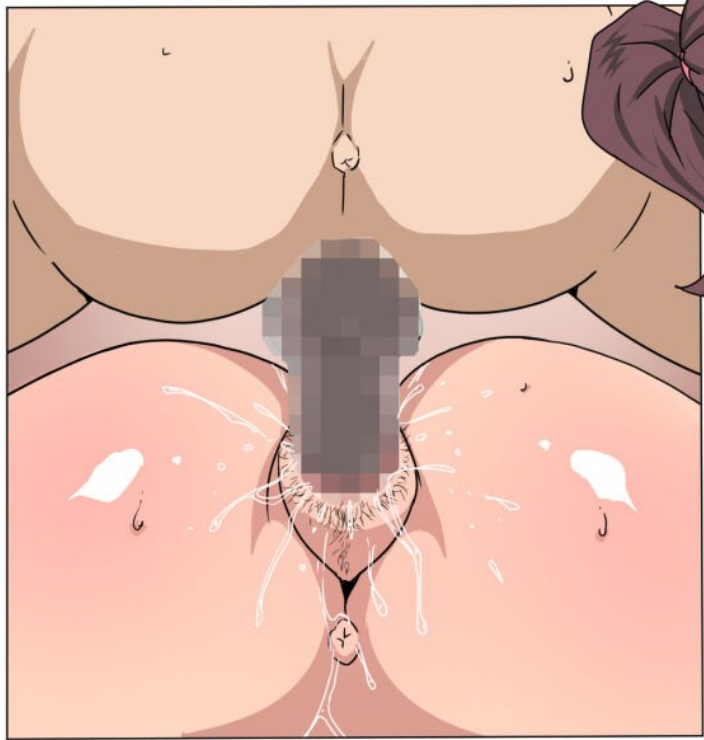




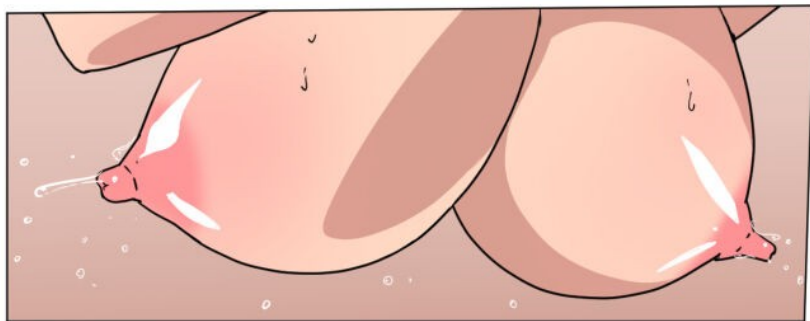


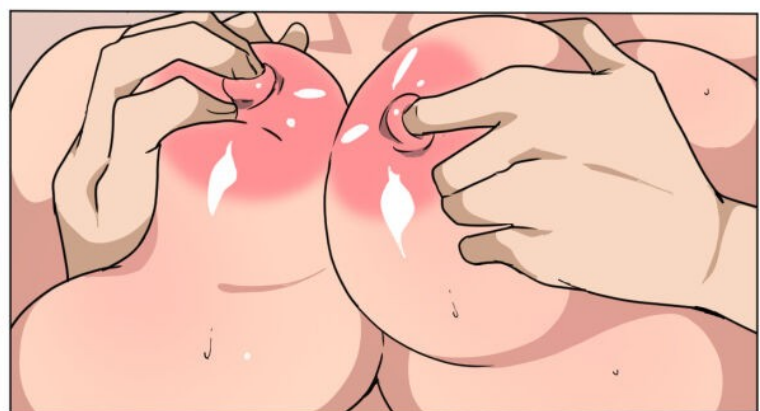




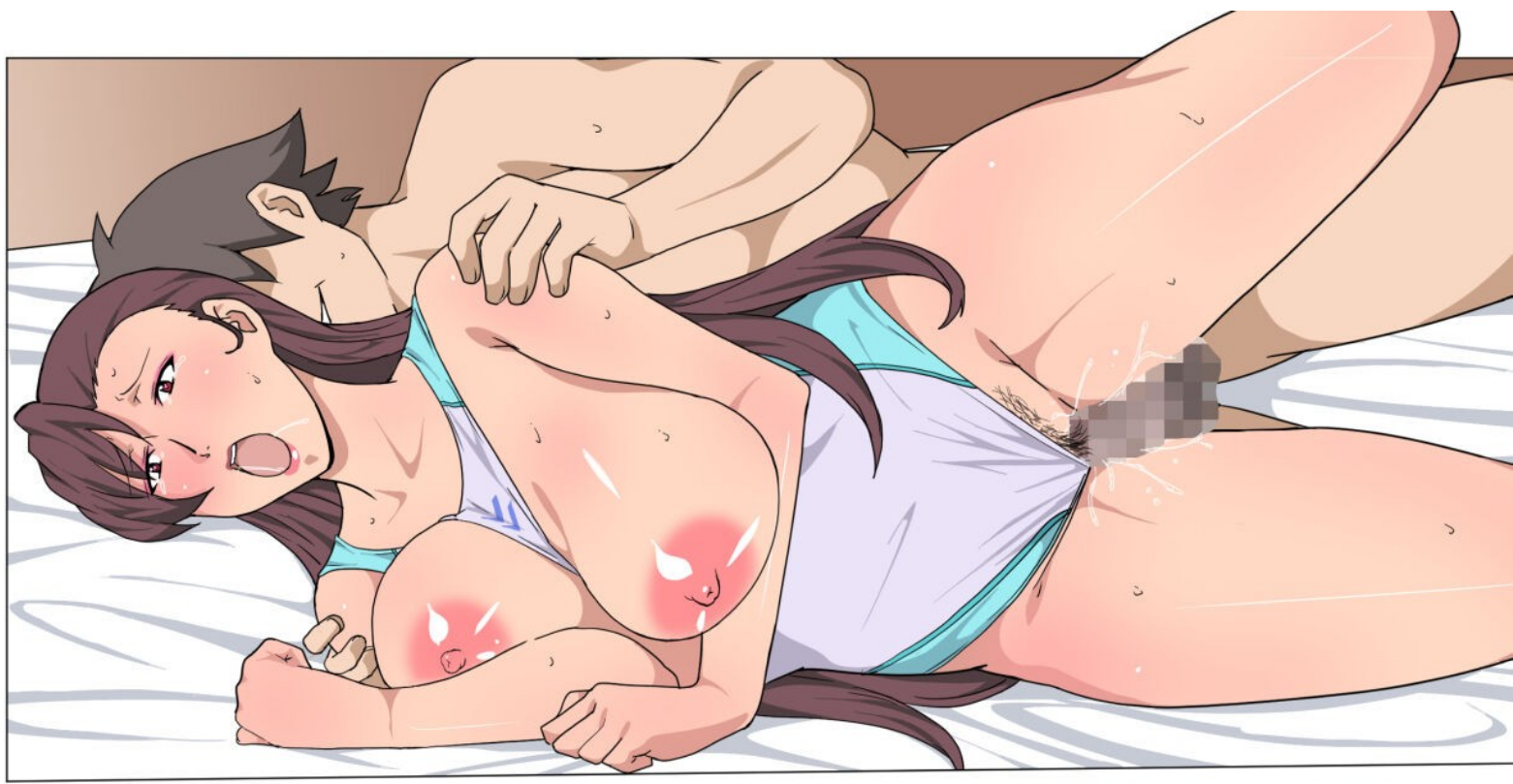


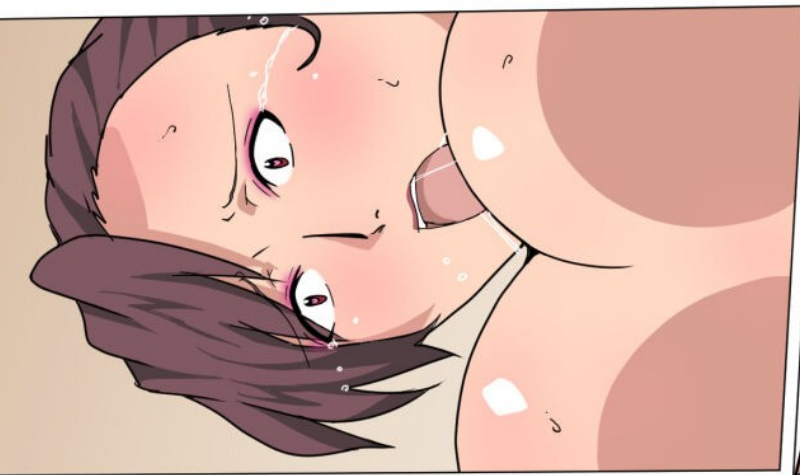
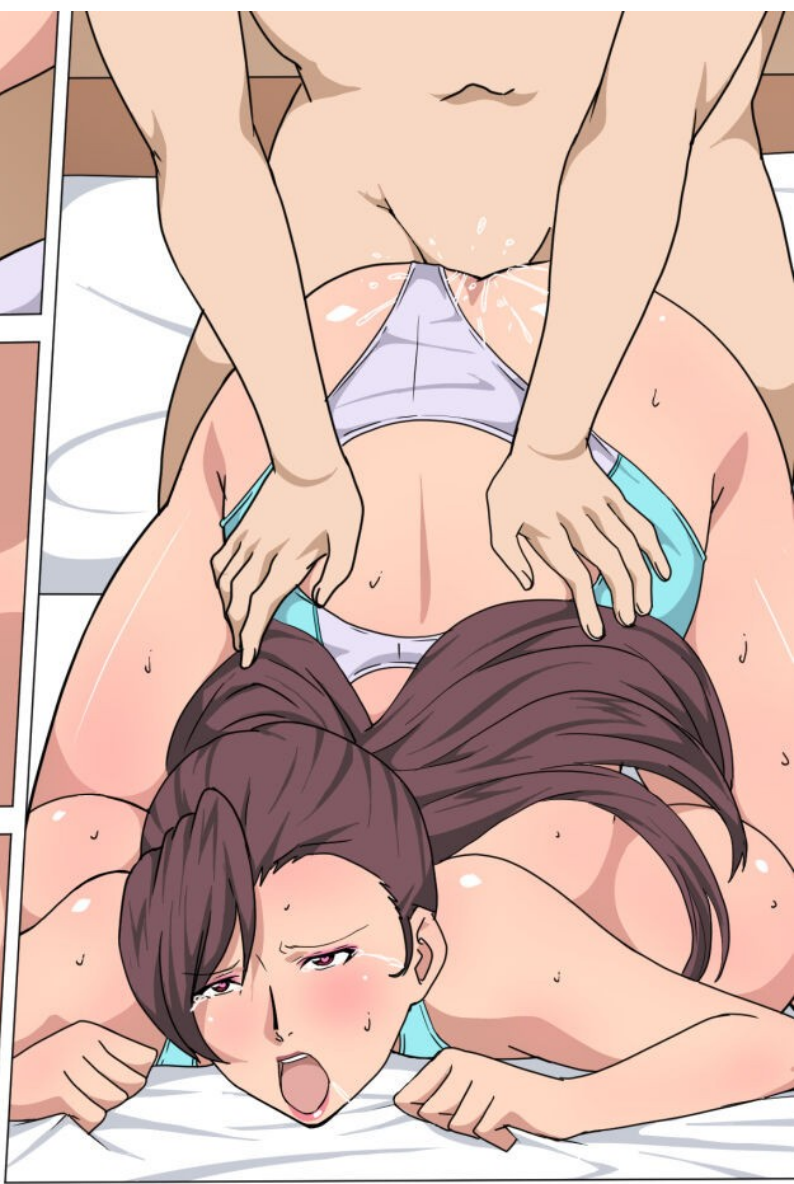
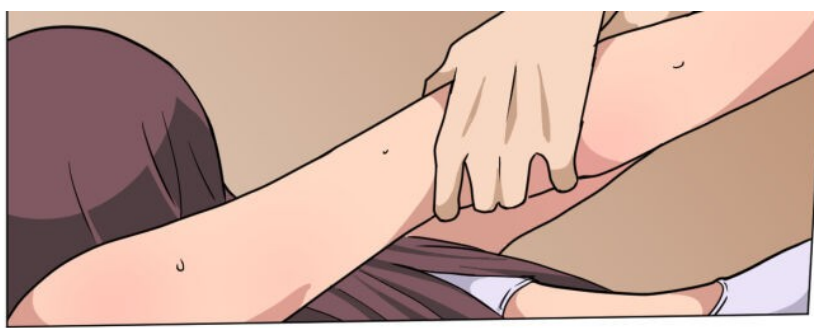


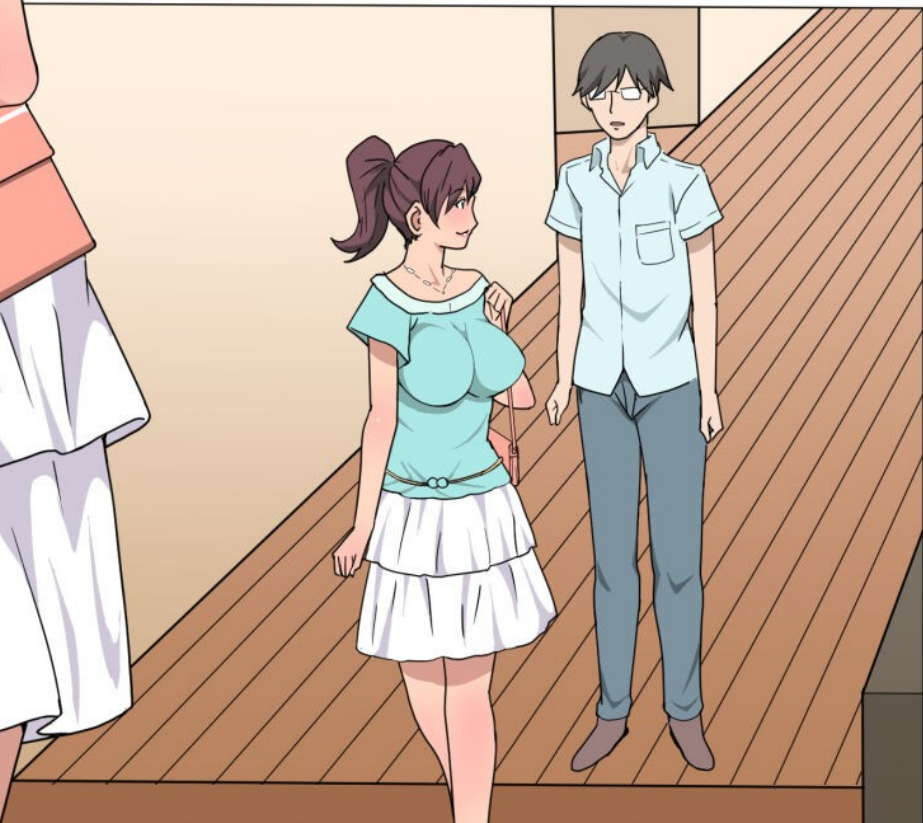












「元陸上部のおばさんを寝取った話」  
2020年8月22日発行  
Paiれっしゅ著

-ご注意-

本作品及びそのコピーを著者に無断で  
インターネット等に掲載することを禁止します。  
またいかなる形態においても、無断販売を禁止します。